



MARATHON
GRAND
CHAMPIONSHIP
CHALLENGE

第52回 防府読売マラソン

(兼) ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ
(兼) マラソングランドチャンピオンシップチャレンジ
(兼) 第22回日本視覚障がい女子マラソン選手権大会

12/19 sun
12:02スタート



主催／中国陸上競技協会、山口陸上競技協会、山口県、山口県体育協会、防府市、読売新聞社、KRY山口放送

後援／日本陸上競技連盟、防府市スポーツ協会、報知新聞社、防府市教育委員会

主管／山口陸上競技協会、防府市陸上競技協会

支援／陸上自衛隊第17普通科連隊、航空自衛隊第12飛行教育団、航空自衛隊航空教育隊、陸上自衛隊第13飛行隊、
防府医師会、防府市自治会連合会、防府交通安全協会

防府読売マラソンコース (日本陸上競技連盟・ワールドアスレティクス／AIMS公認コース)

キリンレモンスタジアムソルトアリーナ防府前県道 → 防府市大字田島折返し → キリンレモンスタジアム陸上競技場



目 次

ごあいさつ.....	2
前回大会ハイライト.....	9

招待選手紹介.....	10
マラソン参加選手一覧（男性競技者）.....	12
マラソン参加選手一覧 （男性競技者・女性競技者・IPC登録競技者）.....	16

スタート・フィニッシュ位置図.....	17
マラソンコース図.....	18
会場案内図.....	20
ソルトアリーナ防府案内図.....	21

防府読売マラソン大会の歴史（歴代優勝者）.....	23
濱村杯.....	25
貞永杯・国際親善神徳賞.....	26
防府読売マラソン大会（マラソン）20傑・マラソン記録（日本歴代10傑）.....	27

競技注意事項.....	28

大会役員.....	32
競技役員.....	32
関門役員.....	34
給水役員.....	34
本部補助員.....	34

スプリットタイムメモ・大会最高記録.....	36
入賞者一覧表.....	37



防府読売マラソン大会会長
山口陸上競技協会会長

園田 隆

*Chairman of the
Hofu Yomiuri
Marathon*

*Chairman of the
Yamaguchi Athletic
Sports Association*
Takashi Sonoda

第52回防府読売マラソン大会が、今年も多数の優秀選手を迎え、盛大に開催できますことを誠に喜ばしく思います。

今年で第52回を数える本大会は、その年の締めくくりとして出走される選手が多く、この半世紀の間、将来のマラソン界を背負う新人選手の登竜門として、全国から注目を集める大会へと発展してまいりました。また、昨年は日本視覚障がいマラソン選手権大会を併せて開催し、昨年大会で入賞されたブラインドランナーの多くが、東京2020パラリンピックでも華々しい活躍をされたことは記憶に新しく、幸甚の至りでございます。

さて、未だ新型コロナウイルス感染症の脅威の中ではありますが、昨年大会の運営の経験も踏まえ、選手に安心して御参加いただける大会として、今年も開催を決定いたしました。選手の皆様方には、コロナ禍においても練習を積まれてきたその成果を存分に発揮していただき、ご自身の納得いくレースを展開していただきたく存じます。

また、昨年大会を振り返りますと、男子の部は丸山竜也選手（八千代工業）が川内優輝選手（あいおいニッセイ同和損保）とレース終盤まで接戦の末、2時間9分36秒という素晴らしい記録で優勝を果たされました。また、女子の部は赤坂よもぎ選手（スタート）が本大会歴代2位となる2時間29分21秒の好記録で優勝されました。男子IPC登録の部では堀越信司選手（NTT西日本）が2時間22分28秒のアジア新記録で、また女子IPC登録の部では、道下美里選手（三井住友海上）が2時間54分13秒の世界新記録で、それぞれ優勝され、それぞれの部において、好記録が多数生まれた大会となりました。

今大会におきましても、選手の皆様には今年の走り納めに相応しいレースとしていただき、すべてのランナーへの希望の光となる大会となるよう、御期待申し上げます。

結びに、大会の開催に御尽力いただきました読売新聞西部本社並びにKRY山口放送をはじめ、関係各位に敬意と感謝を申し上げますとともに、陸上競技の一層の隆盛を祈願いたしまして、御挨拶いたします。

Welcome to the 52nd Hofu Yomiuri Marathon. It is truly a pleasure that we are able to hold this race with a number of great athletes again this year.

Many athletes are running this race as the final race of the year, and it also has come to attract attention from all over Japan as a gateway to success for rookies in the last half century. Japan Blind Marathon was jointly held with the Hofu Yomiuri Marathon for the first time last year, and it was such a great joy to see many of the award winning blind runners at this race last year performing splendidly in Tokyo Paralympics 2020.

We are still under the threat of COVID-19 this year, but decided to host this race. We are confident to carry out the race safely with experience of the race management last year. I hope all participating athletes will give the best performance possible, and derive the result that their hard practice is paid off.

Looking back at last year's race, Tatsuya Maruyama of Yachiyo Industry Co., Ltd. won the race, succeeding in his last spurt after such a close run with Yuki Kawauchi of Aioi Nissay Dowa Insurance, and achieved the outstanding record of 2 hours 9 minutes 36 seconds. In addition, Yomogi Akasaka of Starts Corporation won the race with the record of 2 hours 29 minutes 21 seconds which was the second fastest of this race. Furthermore, Shinji Horikoshi of NTT West Corporation set the Asian Record of 2 hours 22 minutes 28 seconds in IPC male division, Misato Michishita of Mitsui Sumitomo Insurance Company Ltd. set the world record of 2 hours 54 minutes 13 seconds in the IPC female division, and many other great records.

I wish everyone who participates in the race this year the best of luck in achieving their personal goals in this final race of the year, and in becoming the beacon of hope to all athletes.

In closing, I would like to express my sincere gratitude to Yomiuri Shimbun West Headquarters, KRY, Yamaguchi Broadcasting Co. Ltd., and others for organizing the race, and my hope for the further prosperity of the athletics.



中国陸上競技協会会長

三宅 勝次

Chairman of the
Chugoku Athletic
Sports Association
Katsuji Miyake

未だに、世界的に新型コロナウイルス感染症拡大の局面にあり、多くの国内のスポーツイベントも延期・中止されている状況の中、ここ、山口県防府市において、師走の風物詩として定着しております「防府読売マラソン大会」が、関係者のご努力により開催されますことに、敬意を表しますとともに、主催者の一人として、たいへんありがたく感じております。

本大会は、江戸時代における萩藩で行われていた「早走り」の精神を受け継いでいると言われています。時代を経てもその精神は変わらず、多くのランナーが躍動感のある姿で走り、沿道の応援とともに一体化し迫力のあるレースが展開されてきました。

さて、この夏東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、昨年の本大会IPC登録の部で優勝した道下美里選手や堀越信司選手が、パラリンピックの舞台でメダルを獲得するという素晴らしい活躍をされました。本大会での好走が、次の世界の舞台での励みになったことを大変嬉しく思います。

さらに、今年の大会はWAよりエリートラベル、日本陸連よりジャパンマラソンチャンピオンシップのグレード2を取得しました。大会のレベルアップにつながるラベルを獲得したことで、レベルの高い選手が集まり、世界につながる大会としても認知されるように期待が膨らみます。

今大会に出場する選手の皆さん、挑戦する「走り」が感動を呼び、走る本人にも、胸躍るレース・大会になることを期待しています。そして、本大会の出場選手から世界の舞台で走る選手が現れ、伝統のあるこの大会が、今後ともマラソンの登竜門として認知され、発展することを願っています。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり、ご支援・ご協力を賜りました関係各位にお礼申し上げます。

I would like to first pay my formal respect and appreciation to the people who have made effort to hold Hofu Yomiuri Marathon, considered as one of highlights of December here in Hofu City again this year though many sporting events are still being postponed or cancelled under the worldwide coronavirus pandemic.

It is said that this race observes the tradition of "Hayabashiri", the long distance training for young men, that Hagi Domain had in the Edo era. That spirit has not changed over the years and dynamic run of many athletes together with cheers along the road has made many races so impressive.

Tokyo Olympics and Paralympics 2020 were held this summer. Misato Michishita and Shinji Horikoshi who won in IPC division last year achieved amazing performance and won a medal in the Paralympics. I am delighted that their having great run at the race in Hofu gave them encouragement and confidence to perform well at the following international race.

Hofu Yomiuri Marathon has become a WA Elite Label Road Race, and been included in Japan Marathon Championship Series (Grade 2) designated by Japan Association of Athletics Federation (JAAF). I am thrilled that the race, gaining the high label this year, attracts athletes on the high level which leads to the acknowledgement of this race as an international race.

It is my hope that the challenging run of participating athletes will touch people's heart, and make the race so exciting for themselves as well. I also wish the athletes who participate in this race will be acknowledged in the world, and this race with tradition will continue to be or prosper as a gateway for rookies.

In closing, I would send my sincere appreciation to the people involved in organizing the race for their support and cooperation.



山口県知事

村岡 嗣政

Governor of
Yamaguchi
Prefecture
**Tsugumasa
Muraoka**

第52回防府読売マラソン大会が、今年も盛大に開催できますことを大変嬉しく思いますとともに、県内外からの皆様の御参加を心から歓迎いたします。

さて、今夏開催された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」では、本県ゆかりの選手が過去最高となる18名出場し、柔道の大野将平選手や卓球の石川佳純選手をはじめ5名のメダリストが誕生するなど、その活躍も目覚ましく、応援する多くの県民が深い感動に包まれました。

とりわけ、マラソン競技（視覚障害）で見事優勝し、本県出身者として初のパラリンピック金メダリストになられた道下美里選手は、防府読売マラソン大会と非常に縁深く、昨年の大会において世界新記録で優勝されるなど、大会を通じて実力をつけてこられただけに、大会関係者の一人として喜びもひとしおです。

こうした中、初冬の風物詩として県民に愛され、また、「新人の登竜門」として全国的に名高い本大会は、これまでの半世紀にわたる実績や歴史を高く評価され、このたび、主要な国際マラソン大会であるWA（ワールドアスレティックス）エリートラベルを取得されたと伺っています。

東京2020大会の感動が冷めやらぬ中、本大会が国際格付けの取得により、世界から注目されるレースとして実施されることは誠に意義深く、県民のスポーツに対する関心への高まりに加え、スポーツを通じた交流の拡大など、本県の活性化にもつながることを期待しています。

出場される選手の皆様におかれましては、コロナ禍の閉塞感を吹き飛ばすような熱い走りを御披露いただきますとともに、この機会に本県の豊かな自然や文化に触れ、新鮮な海の幸、山の幸を御堪能いただくなど、本県の魅力を満喫していただければ幸いです。

結びに、本大会が選手をはじめ役員やボランティア、また、応援される皆様感動を分かち合える大会となりますことを祈念いたしまして、歓迎の御挨拶といたします。

It is a great pleasure that the 52nd Hofu Yomiuri Marathon is to be held again this year, and I would like to welcome all the participating athletes in and out of Yamaguchi Prefecture.

Eighteen athletes from the prefecture, the highest number ever, attended the Tokyo 2020 Olympics and Paralympics this summer, and five of them including Shohei Ono (judo) and Kasumi Ishikawa (table tennis) became medalists. All of their performances were so brilliant that many citizens of the prefecture were so deeply moved.

Especially, Misato Michishita has had deep affinity with Hofu Yomiuri Marathon, developing her ability through the race every year, and won the race with the new world record last year. It was such great joy as one of the organizers of the race to see her become the first Paralympic Gold Medalist (blind marathon) born in Yamaguchi.

This marathon not only makes the residents of Yamaguchi Prefecture feel the coming of early winter and is a nationally famous gateway to success for rookies, but also is highly rated with its past achievement and history over the last half century. I heard that this year Hofu Yomiuri Marathon became a World Athletics Elite Label Road Race.

All the inspirations in Tokyo 2020 Summer Olympics being still fresh in memory, this race to become internationally recognized and attract interest is extremely meaningful, and leads to an increase the residents' interest toward sports, to expansion of interaction through sports, and to activate the prefecture.

I would like to ask all participating athletes to have a passionate run that will blow away the sense of despair due to the coronavirus outbreak, and also to enjoy the nature, culture and fresh crops of the ocean and mountains that this prefecture can offer.

Last but not the least, I wish this race will touch hearts of all athletes, officials, volunteers, and supporters.



防府市長

池 田 豊

Mayor of Hofu City
Yutaka Ikeda

第52回防府読売マラソン大会を、多くの皆様方のお力添えにより開催できますことを心より感謝申し上げます。また、県内外から御参加いただきました選手の皆様、大いに歓迎申し上げます。

さて、「新人の登竜門」として定着しております本大会は、マラソン男子の部で過去4回の優勝を誇る川内優輝選手やマラソン女子IPC登録の部で過去5回の優勝を誇る道下美里選手など、大会が始まり半世紀を越える歴史の中で、数多くのすばらしい選手に出場していただいております。

このように着実に大会を積み重ねてきたことが高く評価され、今大会より、ワールド・アスレティックス・ロードレース・ラベルのエリートラベル大会として開催できることとなりました。また、ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズのグレード2大会として、パリ五輪の代表選考会となるマラソングランドチャンピオンシップへの出場権をかけた大会に位置付けられたところです。

本大会が日本マラソン界のみならず、世界においても認められた大会となりましたことは、これまで大会の開催、運営などに御理解・御協力をいただいた皆様のおかげと、改めて感謝するところです。

そして、選手の皆様におかれましては、どうか日頃の成果を遺憾なく発揮していただき、自己ベストや好記録を目指していただきたいと思います。

結びになりますが、本大会の開催、運営に格別の御理解とお力添えをいただいております関係者の皆様、そして、テレビやラジオで選手の活躍を御覧になり、温かい声援を送っていただいている防府市民の皆様や全国のマラソンファンに対しまして、深甚なる敬意と感謝の意を表し、本大会が全ての人に勇氣と感動を与える大会となることを心より祈念いたしまして、御挨拶といたします。

I would like to express my cordial gratitude to all the people who have supported the 52nd Hofu Yomiuri Marathon to be held, and also truly welcome all participating athletes in and out of Yamaguchi Prefecture.

This marathon has won the reputation, through the last half century, as a gateway for rookies, and a number of wonderful athletes have participated in the race, including Yuki Kawauchi who won four times in the male division, and Misato Michishita who has won five times in the IPC female division.

As results and accomplishments of this race, held annually for over five decades, have gained high appraisal, the race became a World Athletics Elite Label Road Race this year.

This race has also been included in Japan Marathon Championship Series (Grade 2) since this year that provide the winning athletes with the right to participate in the Marathon Grand Championship, which selects qualifying athletes for Paris Olympics.

The race became both domestically and internationally acknowledged, and it is due to all the people involved in this race.

I wish all the participating athletes to show everything they have prepared for and to aim for their best performance or record.

Finally yet importantly, I would like to express my deepest appreciation to everyone who has been involved to organize this marathon with tremendous understanding and support, to citizens of Hofu City and marathon fans throughout Japan who give the athletes such warm cheers through TV and radio, and my sincere hope that this marathon will encourage and inspire all people.



読売新聞西部本社
代表取締役社長

国 松 徹

*President
Yomiuri Shimbun,
Seibu*

Toru Kunimatsu

今年も52回目となる防府読売マラソン大会の開催を迎えることができますことを、主催者の一員として心より嬉しく思います。

この夏、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、マラソン日本代表選手の活躍が記憶に新しいかと存じます。その一方で、昨年から続くコロナ禍により、多くのスポーツ大会が延期、中止を余儀なくされました。本大会の開催を可能にしたのは、防府市の皆様、大会関係者の皆様のご理解と多大なるご尽力のおかげです。心より感謝申し上げます。

本大会は、1970年に創設され、これまで数多くの有望な若手ランナーが出場してきました。「新人の登竜門」としてその役割を果たしてまいりましたが、今大会から世界陸連（WA）のエリートラベルを獲得し、マラソン日本一を決めるジャパン・マラソンチャンピオンシップ（JMC）シリーズへ参画するなど「大会の格付け」の向上に取り組んでいます。今後、この防府の地からひとりでも多くの日本代表選手が誕生することを期待しています。

今年も、新型コロナウイルス感染症対策として出場者の規模を縮小し、一般の部の参加者は昨年に続いて山口県民のみとなります。毎年選手に声援を送っていただく沿道の市民の皆様には、テレビ、ラジオを通じて、屋内での熱い応援を切にお願いします。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なるご尽力を賜りました関係の皆様にご感謝申し上げますとともに、参加選手のご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

I am delighted to hold the 52nd Hofu Yomiuri Marathon this year as a member of the organizers.

With the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games being held this summer, the achievements of Japan's marathon runners are fresh in our minds. On the other hand, many sporting events had to be postponed or cancelled due to the corona disaster that has continued since last year. Thanks to the understanding and great efforts of the people of Hofu City and all the people involved in the event, we have been able to hold this event. I sincerely express my gratitude.

Since its inception in 1970, this event has attracted many promising young runners. The event has played a role as a gateway to success for new talents. From this year, the race has been awarded the elite label of the World Athletics (WA), and is participating in the Japan Marathon Championship (JMC) series to determine the best marathon runner in Japan, and is working to improve the "classification of the event". I hope that many more Japanese athletes will be born from the Hofu area in the future.

The number of participants has been reduced again this year as a measure to prevent the spread of the coronavirus, and the participants in the general category will continue to be limited to residents of Yamaguchi Prefecture. We sincerely ask the citizens who cheer the athletes along the roadside every year to support them enthusiastically indoors through TV and radio this time.

In closing, I would like to express my appreciation to all those involved for their great efforts in organizing this event, and wish all the participating athletes the best of luck.



山口放送株式会社
代表取締役社長

林 延 吉

President
of KRY Yamaguchi
Broadcasting
Company

Nobuyoshi
Hayashi

長引くコロナ禍で多くの活動が制限される中、今年も山口県防府市にランナーの皆様をお迎えして、第52回防府読売マラソン大会を盛大に開催できますことを主催者のひとりとして誠に光栄に存じます。

本大会は、若手ランナーが大きく飛躍する登竜門として、また自らの記録を追い求める多くの市民ランナーの1年を締めくくる真剣勝負の大会として位置づけていただいております。ここ数年、練習の成果を発揮できる場が少なくなったことで、選手たちのこの大会にかける気持ちは、これまで以上に高まっているのではないのでしょうか。

昨年の大会は、激しいトップ争いが続く中、38キロすぎに丸山竜也選手が5度目の優勝を狙った川内優輝選手を振り切り、2時間9分36秒の自己ベストタイムで初優勝を飾りました。

また、視覚障害女子の部で世界新記録を樹立した下関市出身の道下美里選手は、今夏の東京パラリンピック・女子マラソンで、見事金メダルを獲得するなど、「防府読売マラソン」への関心は大いに高まりました。今年の大会では、どのようなドラマが生まれるのか、本当に楽しみです。

山口放送ラジオはレースの模様を山口県全域で、また「radiko」を通じて全国の皆様にお届けいたします。テレビは、西日本（2府20県）で中継放送し、大会終了後には、動画配信サービス「Hulu」を通じて全国に配信する予定です。

終わりに、本大会開催に向けて、ご支援ご協力を賜りました関係の皆様には、御礼申し上げます、ごあいさついたします。

While a lot of activities are restricted by the prolonged COVID-19 Crisis, As one of the organizers, I am honored to welcome runners to Hofu City, Yamaguchi Prefecture and to hold the 52nd Hofu Yomiuri Marathon Grandly this year as well.

This race is positioned as a gateway to success for young runners to make great leap and as a serious competition to conclude the year of many citizen runners who pursue their own records.

In the last few years, there are fewer opportunities to show the fruits of efforts. I think that the feelings of the players for this race are higher than ever.

In last year's race, while fierce competition for the top continued, Tatsuya Maruyama shook off Yuki Kawauchi who was aiming for the fifth victory. And he won with his personal best time of 2 hours, 9 minutes, 36 seconds. It was his first victory.

In addition, Misato Michishita from Shimonoseki City who set a world record in the visually impaired women's division won a gold medal at the Tokyo Paralympic Women's Marathon this summer. People's interest in the "Hofu Yomiuri Marathon" has greatly increased. I am really looking forward to what kind of drama will be born at this year's race.

Yamaguchi Broadcasting Radio will broadcast the race of situation to all over Yamaguchi Prefecture. And we will deliver it to everyone in Japan through "radiko". The TV will be broadcast in western Japan. After the race, it will be distributed nationwide through the video distribution service "Hulu".

In closing, we would like to express our sincere gratitude and greetings to all the people concerned for their support and cooperation toward the holding of this race.



日本ブラインド
マラソン協会
会長

羽毛田 信吾

*Chairman of the
Japan Blind
Marathon
Association*

Shingo Haketa

歴史ある防府読売マラソン大会が、第52回の開催を迎えられますことを心からお慶び申し上げます。

コロナ禍での大会開催に向けた関係者の皆さまのご尽力に敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

第44回大会からブラインドランナーを快く受け入れていただき、日本視覚障がい女子マラソン選手権大会として数々の好レースが展開され、好記録が生まれてきました。

昨年度の本大会では、当協会所属の道下美里選手が世界記録を更新し、堀越信司選手はアジア記録を更新しました。そして、今夏開催された東京2020パラリンピックにおいて、道下選手が金メダル、堀越選手が銅メダルを獲得するという素晴らしい成果を挙げることができました。

本大会での好走が自信となり、パラリンピックでの活躍につながったと確信いたします。

本大会は国内ブラインドマラソンランナーの貴重な公認マラソン大会として、欠かすことのできない大会となっています。新たにワールドアスレティクス認定のエリートラベル大会となり、素晴らしい大会に参加させていただけますこと、感謝申し上げます。

終わりにになりましたが、大会開催にあたり、ブラインドランナーの参加にご尽力をいただきました主催者の皆さま、大会運営を支えていただくご関係者、ボランティアの皆さま、いつもご支援いただいているブラインドマラソンファンの皆さまに深謝申し上げ、協会を代表してのご挨拶といたします。

It gives me great delight that Hofu Yomiuri Marathon, with its long history, marks the 52nd race this year.

I would like to express my sincere gratitude for the efforts all of the officials have made to hold this race under the coronavirus pandemic.

From the 44th race, Hofu Yomiuri Marathon has happily accepted blind runners, and with the joining of Japan Blind Women Marathon, there has since been a number of great races and records.

At Hofu Yomiuri Marathon last year, Misato Michishita renewed the world record, and Shinji Horikoshi the Asian record. Then she won the Gold Medal, and he won the Silver Medal in the Paralympic Games. I am convinced that they gained confidence from the great race at Hofu Yomiuri Marathon last year and that led to their superb performance in the Paralympics.

This race has become the one essential official authorized road race for blind marathon runners in Japan.

This year, it gained the title of World Athletics Elite Label Road Race, and I appreciate the opportunity to participate in this wonderful race.

In closing, I send my deep appreciation to the organizers, officials, volunteers and blind marathon fans who have always support this marathon.

前回大会ハイライト

丸山竜也（八千代工業）が2時間9分36秒で初優勝。2位に川内優輝（あいおいニッセイ同和損保）、3位に西沢佳洋（小森コーポレーション）が入った。女子は赤坂よもぎ（スターツ）が初制覇。国際パラリンピック委員会（IPC）登録の部女子は道下美里（三井住友海上）が世界新をマークし、4年連続5度目の優勝を飾った。同男子は堀越信司（NTT西日本）がアジア新で初優勝した。（スタート時の気象条件：晴、気温9.5度、湿度30%、西北西の風2.4メートル）※所属先は当時



▲折り返し点での先頭集団



▲給水を取る選手たち



▲初優勝した赤坂よもぎ(スターツ)
提供：読売新聞社



▲優勝した丸山竜也(八千代工業)



▲世界新記録を達成した
道下美里(三井住友海上)



▲アジア新記録で優勝した
堀越信司(NTT西日本)
提供：読売新聞社



アスリートビブス

1

川内 優輝 (あいおいニッセイ同和損保)

KAWAUCHI, Yuki

記録/Record 2° 07' 27" ('21 びわ湖毎日)

年齢/Age 34歳 出身/From 東京・学習院大

本大会への意気込み

防府を10回以上走り、どの招待選手よりも防府を知っている。だからこそ、もう一度優勝したい。



アスリートビブス

2

福田 穰 (NN Running Team)

FUKUDA, Jo

記録/Record 2° 09' 52" ('18 ゴールドコースト)

年齢/Age 30歳 出身/From 熊本・国士舘大

本大会への意気込み

昨年勝負所で離れてしまったので今回は最後にスパートして勝てるように準備していく。



アスリートビブス

3

神野 大地 (セルソース)

KAMINO, Daichi

記録/Record 2° 10' 18" ('18 東京)

年齢/Age 28歳 出身/From 愛知・青山学院大

本大会への意気込み

自分の力を出し切る、やってきた事を出し切る。



アスリートビブス

4

鈴木 忠 (スズキ)

SUZUKI, Tadasuki

記録/Record 2° 10' 46" ('20 防府読売)

年齢/Age 33歳 出身/From 千葉・中央学院大

本大会への意気込み

頑張ります！



アスリートビブス

5

平田 幸四郎 (SGホールディングス)

HIRATA, Koshiro

記録/Record 2° 10' 50" ('21 びわ湖毎日)

年齢/Age 23歳 出身/From 京都・帝京大

本大会への意気込み

コロナ禍の中、開催して頂けることに感謝し、しっかりと結果を残したいと思います。



アスリートビブス

6

吉村 大輝 (旭化成)

YOSHIMURA, Taiki

記録/Record 2° 11' 13" ('19 防府読売)

年齢/Age 29歳 出身/From 鹿児島・流通経済大

本大会への意気込み

相性の良いレースで自己新を目指します。



アスリートビブス

7

熊橋 弘将 (山陽特殊製鋼)

KUMAHASHI, Hiromasa

記録/Record 2° 12' 10" ('20 東京)

年齢/Age 27歳 出身/From 兵庫・姫路商高

本大会への意気込み

自己記録更新目指して頑張ります。

ペースメーカー PACEMAKERS



アスリートビブス

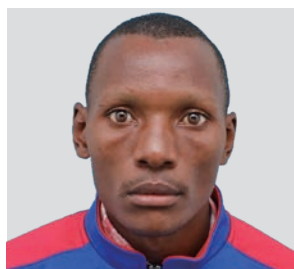
41

ワンブア タイタス (埼玉医科大学グループ)

TITUS, Wambua

記録/Record 1° 03' 23" ('18 箱根駅伝予選会)

年齢/Age 24歳 出身/From ケニア・武蔵野学院大



アスリートビブス

42

マイケル ギザエ (スズキ)

GITHAE, Michael

記録/Record 2° 08' 17" ('20 福岡国際)

年齢/Age 27歳 出身/From ケニア・福岡第一高

男性競技者 ATHLETES(MALE)

No	氏 名	年齢	都道府県	所 属
51	セルオド バトオチル	40	三重県	三重陸協
52	ドミニク ニヤイロ	24	大阪府	NTT西日本
53	山本 修二	25	宮崎県	旭化成
54	濱崎 達規	33	沖縄県	なんじいAC
55	藤村 行央	34	兵庫県	住友電工
56	白頭 徹也	25	埼玉県	八千代工業
57	飛松 佑輔	30	鹿児島県	日置市役所
58	大橋 秀星	31	東京都	小平市陸協
59	風見 尚	38	愛知県	愛三工業
60	森 貴樹	40	埼玉県	モンブラン
61	石田 亮	33	埼玉県	自衛隊体育学校
62	國司 寛人	28	宮崎県	旭化成
63	藤井 祐希	29	山口県	トクヤマ
64	牧野 冨希	34	埼玉県	趣味の集い
65	森川 翔平	31	兵庫県	山陽特殊製鋼
66	河野 孝志	38	埼玉県	豊岡RC
67	大石 巧	25	静岡県	スズキ
68	山本 竜也	26	埼玉県	八千代工業
69	門出 康孝	30	千葉県	TEAMITO
70	山田 泰生	29	東京都	東京陸協
71	行場 竹彦	36	東京都	濃厚とんこつ極
72	山口 純平	24	東京都	ELDORESO
73	山田 祐生	29	埼玉県	まるお製作所
74	柴田 憲志	31	三重県	三重陸協
75	室伏 穂高	25	静岡県	スズキ
76	清谷 公紀	31	神奈川県	横浜市陸上競技協会
77	江浪 修平	28	山口県	日鉄ステンレス
78	宮城 響	23	沖縄県	沖縄陸協
79	樽本 将吾	30	神奈川県	小田原市役所
80	岩佐 快斗	24	神奈川県	平塚市陸上競技協会
81	栢本 裕真	27	埼玉県	東京陸協
82	森田 和裕	24	埼玉県	埼玉滑川走友会
83	福田 将治	34	山口県	東ソー
84	有重 和人	42	山口県	JR西日本
85	白土 瑞樹	29	北海道	札幌エクセルAC
86	児玉 雄介	35	埼玉県	SFJRC
87	高島 宏希	32	福井県	福井陸上競技協会
88	友森 敬一郎	29	山口県	東ソー分離剤課
89	松本 圭祐	33	福岡県	久留米大学
90	脇田 怜司	22	宮城県	ミシマショクヒン
91	藤井 大輔	23	山口県	
92	渡邊 賢	25	山口県	東ソー
93	前田 洋輔	36	兵庫県	パナソニックLS
94	須崎 裕也	28	神奈川県	川崎市役所
95	金子 遼	31	埼玉県	埼玉滑川走友会
96	土橋 晋也	30	北海道	アスリーツ・ラボ
97	鎌田 紘宜	35	東京都	
98	小澤 智宏	32	東京都	東京都庁
99	池田 大樹	29	埼玉県	上尾市陸上競技協会
100	豊永 哲央	35	山口県	長府製作所
101	山本 浩平	31	熊本県	熊本県庁
102	森川 友道	43	大阪府	豊中市役所
103	河合 謙一	37	東京都	東京都陸上競技協会
104	清水 文晶	36	愛知県	TPAC
105	土門 将輔	24	愛知県	愛知県陸協
106	佐々木 正志	44	東京都	東京陸協
107	楠本 正輝	33	兵庫県	西宮市陸上競技協会
108	岡本 拓也	29	埼玉県	TeamM×K
109	富張 裕紀	38	神奈川県	神奈川マスターズ
110	渡邊 祐二	28	岐阜県	KYB
111	藤原 拓	35	東京都	東京都庁
112	浅敷 正志	39	三重県	三重陸協
113	小中 良太	36	兵庫県	神戸市陸協
114	木村 直樹	29	山口県	トクヤマ
115	板橋 大輔	36	千葉県	日本製鉄君津
116	下村 悟	47	滋賀県	パナソニックホームズ
117	伊藤 達哉	39	青森県	
118	藤田 悠	43	山口県	岩国市陸協
119	小野 喜之	43	岡山県	倉敷福田走友会
120	小谷 徹也	45	千葉県	千葉陸上競技協会
121	島田 博行	55	大阪府	大阪長居AC
122	荻野 高広	40	東京都	東京陸協
123	藤永 紘基	36	愛知県	CROSSOVER
124	飯田 豊	24	群馬県	川越市陸協
125	東本 裕斗	33	三重県	三重陸協
126	奥山 善人	41	広島県	陸上自衛隊岡山
127	高見 雄飛	27	山口県	長門市役所
128	池亀 透	30	兵庫県	GRlab兵庫
129	渡久地 政海	27	沖縄県	449RC

No	氏 名	年齢	都道府県	所 属
130	山中 孝一郎	40	東京都	内田治療院AC
131	正崎 大士	32	大阪府	大阪陸協
132	佐藤 傑	32	東京都	東京陸上協議会
133	中村 直樹	43	大阪府	大阪陸協
134	蒲池 直樹	37	愛知県	本城陸上クラブ
135	野上 翔平	24	山口県	東ソー
136	原田 拓	37	愛知県	FROG
137	福岡 恒	31	熊本県	GGRC熊本
138	内山 雄貴	30	東京都	東京都庁
139	小川 智寛	32	山形県	南陽東置賜駅伝
140	中島 充博	28	栃木県	上尾市陸上競技協会
141	山室 陽平	34	大阪府	GRlab兵庫
142	小磯 秀治	37	埼玉県	埼玉陸協
143	金野 人史	36	青森県	吉崎倶楽部
144	中村 卓也	36	福岡県	直轄クラブ
145	友井 悠人	32	長野県	ディオン光学技研
146	平垣内 章久	49	広島県	呉市陸協
147	村川 恵太	28	長崎県	波佐見町役場
148	宮垣 浩平	39	大阪府	Freemax
149	森藤 潤	41	広島県	広島信用金庫
150	東 徹	46	広島県	大和走友会
151	津田 昌樹	32	愛知県	愛知県庁クラブ
152	伊東 和也	30	長野県	飯田下伊那
153	坂本 陽平	32	滋賀県	てるみんRC
154	大辻 夏樹	38	滋賀県	てるみんRC
155	田上 雄士	23	兵庫県	神戸大学
156	竹平 奏太	21	広島県	広島経済大学
157	浅山 樹璃	33	岡山県	GSDF岡山
158	磯村 俊祐	38	山口県	東ソー
159	田村 拓実	30	埼玉県	東京陸上競技協会
160	入学 遼治	39	大阪府	和歌山陸協
161	三好 泰生	22	山口県	下関市立大学
162	澤井 玄	24	北海道	作AC北海道
163	田村 亮	31	群馬県	榛名牛乳
164	宇田川 元数	39	埼玉県	埼玉滑川走友会
165	太田 智也	33	東京都	東京陸協
166	東田 薫	34	大阪府	芥川ランナーズ
167	森山 青空	26	佐賀県	佐賀陸協
168	西沢 紀元	45	長野県	昭和電工大町
169	野儀 晋一	37	福岡県	*
170	牧野 祐季	23	東京都	作AC北海道
171	川西 治雄	43	滋賀県	チームサンタ
172	孫田 礼人	26	東京都	小松島市陸協
173	都野 泰平	28	山口県	日本製鉄
174	廣瀬 史明	49	福岡県	
175	國米 裕介	27	福岡県	福岡陸上競技協会
176	岡 秀哲	39	大阪府	大阪市役所
177	笹井 卓	42	北海道	釧路地検帯広支部
178	濱松 主臣	30	東京都	
179	谷口 隆司	47	兵庫県	姫路RC
180	安田 砂土志	45	埼玉県	埼玉陸協
181	久島 功	40	広島県	尾道市陸協
182	金内 健治	27	北海道	作AC北海道
183	岡久 広	26	京都府	京都中央信用金庫
184	西山 優	28	奈良県	TEAM奈良
185	羽川 英一	41	長野県	茅野市陸協
186	笠川 康平	35	福井県	福井県社労士会
187	白井 秀樹	36	神奈川県	相模原市陸上競技協会
188	南端 一摩	30	京都府	GRlab
189	佐藤 駿太郎	24	栃木県	栃木陸上競技協会
190	渡辺 暁雄	38	熊本県	熊本山鹿RC
191	中田 崇志	42	東京都	関東RC
192	財前 大志	24	大分県	日田市陸協
193	生井 将人	34	東京都	茨城陸協
194	坂本 大輔	34	兵庫県	ASAGO T&F
195	佐藤 直仁	45	大阪府	パナソニックLS
196	杉山 悠	37	栃木県	栃木陸協
197	原田 幸秀	37	愛知県	三菱重工名古屋
198	行本 尚史	34	神奈川県	RDC RC
199	岡野 耕大	27	山口県	長門市役所
200	岩見 高尚	36	山口県	クラブR2九州
201	上川 英一郎	38	東京都	
202	長谷川 和彦	44	山口県	大竹市陸協
203	村岡 拓弥	28	山口県	岩国市陸協
204	山崎 哲平	30	山口県	関門RP
205	小田 健太	33	山口県	宇部・山陽小野田消防
206	藤井 翔太	28	山口県	OHaGi
207	森山 将平	29	山口県	東海カーボン
208	古賀 友明	25	山口県	大竹市陸上競技協会

No	氏 名	年齢	都道府県	所 属
209	竹中 敏郎	34	山口県	岩国市役所
210	村上 貴亮	36	山口県	チームタスキ
211	杉尾 隆一	38	山口県	海響AC
212	今澤 真知	47	山口県	*
213	島田 純喜	40	山口県	マツダ防府
214	大下 和広	53	山口県	宇部市陸協
215	木村 典弘	36	山口県	
216	梅本 幸治	51	山口県	周南市役所
217	原田 諒也	25	山口県	TEAM VIVA!
218	柿並 剛	50	山口県	山口市役所
219	吉富 恭平	24	山口県	山口市陸協
220	川野 竜二	44	山口県	宇部興産
221	岡本 真登	34	山口県	マツダ防府
222	続木 正弘	52	山口県	TEAM VIVA!
223	林 啓二	39	山口県	
224	長岡 査憲	36	山口県	T.VIVA!
225	友原 達矢	35	山口県	JFEマグパウダー
226	菊永 一人	36	山口県	T.VIVA
227	福増 紀雄	52	山口県	
228	廣永 拓男	38	山口県	山口県庁
229	十河 義典	48	山口県	山口県庁
230	内田 哲治	51	山口県	防府市陸上競技協会
231	阿部 正也	28	山口県	宇部興産
232	山本 康晴	42	山口県	*
233	安田 浩	42	山口県	*ナカトラ
234	福原 加巳	23	山口県	東ソー
235	伊藤 正悟	49	山口県	
236	浜田 幹生	48	山口県	下関走ろう会
237	盛重 賢造	52	山口県	山口県庁
238	松井 敏	48	山口県	萩市役所
239	橋本 祐樹	36	山口県	山陰陸連
240	長田 泰史	22	山口県	岩国市陸上競技協会
241	渡辺 隆昭	39	山口県	萩市陸協
242	澄田 尚俊	41	山口県	*
243	磯崎 学	51	山口県	*ピークルーエッセ
244	繁永 博行	28	山口県	*ライトハウス
245	田中 実	53	山口県	*樫野川漁協
246	梶山 守	43	山口県	*山口銀行
247	武居 和義	39	山口県	岩国市陸協
248	金山 紀彦	45	山口県	下松市陸協
249	永下 貴久	39	山口県	*東雲研究所
250	与国 信明	52	山口県	山口市役所
251	藤井 亮史	42	山口県	周南市陸上競技協会
252	石津 賢一	46	山口県	美東RC
253	佐田 晃樹	34	山口県	NNB
254	久保 謙二	43	山口県	萩市陸協
255	福田 拓	44	山口県	*防府市消防署
256	兒玉 成生	32	山口県	出光興産徳山
257	仁田 裕紀	28	山口県	クラブR2西日本
258	上田 伸也	48	山口県	*
259	木佐谷 健久	36	山口県	山口県庁陸上部
260	吉母 厚次	45	山口県	下関市陸協
261	高橋 寛和	46	山口県	*ブリヂストン防府
262	山本 強志	59	山口県	山口県庁
263	斎藤 護	50	山口県	こぐま保育園
264	西條 元康	48	山口県	*宇部市役所
265	井伊 暢宏	49	山口県	宇部興産
266	武重 亮	47	山口県	TEAM VIVA!
267	武末 博明	66	山口県	
268	佐藤 匠	33	山口県	NRA'S
269	福田 圭司	47	山口県	*長州産業
270	岡崎 輝義	53	山口県	美祢市陸協
271	吉田 誠	46	山口県	周南市陸協
272	柳生 貴宏	56	山口県	下関市陸上競技協会
273	佐藤 卓志	52	山口県	株式会社トクヤマ
274	大久保 孝志	44	山口県	山口県庁陸上部
275	岡田 昭宏	46	山口県	下関市役所
276	永安 誠	37	山口県	*
277	津島 正広	48	山口県	*
278	村田 雄亮	47	山口県	防府走龍会
279	平尾 次郎	49	山口県	*三菱ユーエフジェイ銀行
280	堀江 憲仁	39	山口県	*
281	武居 将史	42	山口県	*
282	佐々野 憲一	41	山口県	*
283	竹本 敬史	50	山口県	*山口県庁
284	松岡 保弘	39	山口県	*
285	三輪 哲寛	46	山口県	*(株)サンテック
286	山田 洋治	49	山口県	宇部興産
287	木下 勇司	35	山口県	*(株)野村工電社

No	氏 名	年齢	都道府県	所 属
288	船場 文太	26	山口県	東ソー
289	應湯 雄一	52	山口県	*柳井市役所
290	末永 崇洋	40	山口県	*
291	和田 健一	49	山口県	下関市役所
292	上本 尚弘	54	山口県	大和走ろう会
293	橋本 和明	28	山口県	*チームまつはし
294	山根 真一	42	山口県	*
295	渡 直人	49	山口県	*萩消防
296	吉岡 義法	50	山口県	*光市立大和総合病院
297	綿末 友樹	40	山口県	海響AC
298	佐々木 雄一	47	山口県	三菱重工下関
299	長井 隆俊	50	山口県	下関走ろう会
300	杉山 信一郎	58	山口県	T・VIVA
301	梅舎 慎二	50	山口県	東ソー
302	小本 欣伸	49	山口県	
303	櫻江 紀雄	49	山口県	
304	中嶋 英樹	33	山口県	*
305	歌田 聡	51	山口県	*山口市教育委員会
306	白井 隆志	51	山口県	*山口消防
307	河村 宗昌	44	山口県	
308	増山 修次	47	山口県	萩市役所陸上部
309	田崎 佳之	45	山口県	*長府遊RUN快
310	奥田 康久	55	山口県	宇部興産
311	倉田 昇治	49	山口県	セイエル
312	中司 和希	34	山口県	*
313	能登原 賢治	60	山口県	ブリヂストン下関
314	深堀 洋佑	25	山口県	*山口大学医学部陸上部
315	山本 達雄	49	山口県	
316	渡辺 史丸	39	山口県	*
317	中野 耕嗣	42	山口県	*
318	佐川 正之	36	山口県	アスワン山荘
319	森中 博之	39	山口県	*
320	佐々木 和夫	58	山口県	萩市陸上競技協会
321	佐々木 真太郎	40	山口県	*セントラル硝子
322	石田 英士	48	山口県	*
323	守田 英樹	55	山口県	koume道場
324	布 佳久	50	山口県	*
325	小林 康博	49	山口県	*
326	浜崎 貴昭	48	山口県	
327	齊藤 弘紀	31	山口県	大竹市陸協
328	金田 陽佑	29	山口県	*
329	吉村 祐太郎	37	山口県	*
330	坂田 正明	59	山口県	koume道場
331	柿田 智和	45	山口県	山口市役所
332	日下 篤	52	山口県	*
333	鶴丸 年一	48	山口県	*防府走龍会
334	前原 幸司	49	山口県	*
335	内藤 誠	47	山口県	*
336	山下 裕二	45	山口県	山口市役所
337	福嶋 武則	52	山口県	*
338	桑原 聖二	48	山口県	*
339	舞田 貴之	41	山口県	*光市立大和総合病院
340	山根 拓馬	21	山口県	激陸上愛好会
341	渡邊 伸一	40	山口県	*
342	塔野 功一郎	48	山口県	*すべランナーズ
343	上利 英史	52	山口県	*
344	檜林 秀記	52	山口県	*
345	鷲崎 真一郎	56	山口県	
346	八木 保	50	山口県	下関走ろう会
347	相本 直樹	30	山口県	下松市陸協
348	原田 健治	52	山口県	*
349	田熊 弘幸	47	広島県	*ガラタン
350	棟久 康成	53	山口県	
351	徳永 昌久	48	山口県	*岡田病院
352	南出 隆博	43	山口県	防府市役所
353	山内 栄作	50	山口県	*
354	河野 聖	45	山口県	*TEAMVIVA
355	茂刈 正樹	33	山口県	*CRC
356	稗田 良樹	37	山口県	*ピークルーRC
357	森 正樹	34	山口県	*
358	登 弘光	44	山口県	*トミテック
359	神田 勉	48	山口県	*大島愛牛会
360	松富 裕文	46	山口県	*ブリヂストン防府
361	平田 健	51	山口県	*
362	吉松 瞭	31	山口県	*
363	藤井 隆史	48	山口県	*まぐランナーズ
364	若松 義昭	53	山口県	下関走ろう会
365	田中 一憲	51	山口県	*
366	前田 満弘	59	山口県	東ソー

男性競技者 ATHLETES(MALE)

No	氏 名	年齢	都道府県	所 属
367	村上 慶	31	山口県	*
368	高木 貴史	42	山口県	* 帝人エンジ
369	松橋 透	53	山口県	*
370	井上 卓也	45	山口県	*
371	角田 武久	56	山口県	*
372	庄井 貴昭	43	山口県	海響アスリートクラブ
373	磯村 壽志	59	山口県	* 防府走龍会
374	中村 嘉宏	44	山口県	*
375	榮福 修二	49	山口県	* そら倶楽部
376	小林 隆太	45	山口県	*
377	武村 一郎	50	山口県	T.VIVA!
378	藤中 紀男	61	山口県	*
379	松本 尚志	47	山口県	*
380	金子 俊幸	55	山口県	*
381	石村 友宏	53	山口県	維新ランナーズ
382	大塚 英博	45	山口県	* 宇部・山陽小野田消防
383	舩田 修二	46	山口県	*
384	日浦 泰博	59	山口県	* ひうら整形外科
385	木戸 久夫	47	山口県	*
386	杉山 健一郎	50	山口県	* 金冷会
387	森 敏行	43	山口県	*
388	中村 良	29	山口県	* 豊浦総合支援学校教員
389	宮本 幸治	47	山口県	*
390	サミュエル ウバーサックス	29	山口県	*
391	久保 勉	62	山口県	美祢市陸協
392	岩木 学	49	山口県	*
393	後藤 薫	59	山口県	* 東ソー
394	東 駿	27	山口県	*
395	田村 浩司	33	山口県	防府市役所
396	前田 優二	46	山口県	海響AC
397	村上 智彦	57	山口県	*
398	升本 武志	40	山口県	* TEAM-A
399	松田 昭博	61	山口県	* 山口県庁陸上部
400	川崎 貴博	44	山口県	*
401	内藤 隆真	46	山口県	海響AC
402	沖村 卓美	49	山口県	山口県庁
403	隅田 耕作	52	山口県	*
404	高山 龍一	45	山口県	*
405	中村 善昭	45	山口県	関門港湾建設
406	福村 航	50	山口県	トリヤマ
407	伊東 輝彦	50	山口県	* 大藤医院
408	渡邊 政勝	67	山口県	総合管財 (株)
409	川口 卓也	49	山口県	*
410	牛見 貴陳	48	山口県	周南市陸協
411	村田 信弘	52	山口県	*
412	神出 健児	53	山口県	花もゆランナー
413	高橋 裕史	48	山口県	*
414	橋本 将志	27	山口県	* 長門市陸協
415	井町 実成	55	山口県	萩市陸協
416	古川 純	48	山口県	* 下松消防
417	西岡 敬亮	45	山口県	* 岩国市役所
418	前坂 道弘	50	山口県	* 東ソーポリエチ
419	浅原 基宏	36	山口県	*
420	山本 和宏	46	山口県	*
421	和田 徹	55	山口県	* いそじーず
422	松並 宏昌	50	山口県	光市役所
423	秋吉 政和	41	山口県	下松市陸協
424	柴田 実	50	山口県	* ガチRUN?
425	村中 貴大	30	山口県	* SUBX
426	徳重 篤志	60	山口県	TEAM VIVA!
427	藤重 拓人	27	山口県	岩国市陸上競技協会
428	木村 謙一	46	山口県	* 下関走ろう会
429	上田 豊	61	山口県	* ランナーズ山口
430	河村 一文	60	山口県	防府市陸協
431	岩崎 正幸	57	山口県	*
432	中村 英史	47	山口県	クラブR2西日本
433	奥住 蓮	31	山口県	*
434	町田 誠司	50	山口県	* 防府市クリーンセンター
435	田村 幸夫	42	山口県	*
436	中村 勇一郎	44	山口県	*
437	金沢 守	58	山口県	金沢守クリニック
438	渡邊 圭一	43	山口県	*
439	谷 雅彦	53	山口県	*
440	前田 真一	44	山口県	中村建設
441	重枝 豊実	39	山口県	*
442	甲谷 理温	49	山口県	* 山口大学病院
443	長尾 篤	42	山口県	*
444	浅沼 清	61	山口県	* 岩国錦帯橋
445	中野 賢一郎	45	山口県	* 岡小路ランナーズ

No	氏 名	年齢	都道府県	所 属
446	徳原 峰男	61	山口県	周南市陸協
447	上田 正紀	57	山口県	山陽小野田市陸協
448	松永 渉	49	山口県	* 東割保育園AC
449	菊池 僚	43	山口県	東ソー
450	中野 真嗣	37	山口県	* プリヂストン防府
451	菊川 英治	47	山口県	*
452	土井 健士	49	山口県	* 林兼産業
453	明本 一郎	56	山口県	*
454	松尾 聡	49	山口県	トクヤマ
455	山田 幸一	43	山口県	* 惻隱会
456	岩田 友視	62	山口県	*
457	波多野 純一	38	山口県	*
458	立場 寛之	37	山口県	* 東山口信用金庫
459	小嶺 和置	47	山口県	*
460	廣田 博己	60	山口県	宇部興産
461	土山 泰三	66	山口県	菊川スポーツクラブ
462	魚住 恒三	51	山口県	*
463	田中 裕久	54	山口県	クラブR2西日本
464	小石田 隆志	36	山口県	*
465	中村 政春	61	山口県	*
466	小松 伸太郎	54	山口県	* 藤山消防団
467	田中 信義	56	山口県	*
468	津田 拳児	31	山口県	* サケルグミ。
469	山根 英人	54	山口県	*
470	木村 信夫	56	山口県	防府市陸協
471	大浜 崇	50	山口県	*
472	河野 晃一郎	24	山口県	* 下関ブルーランナーズ
473	中司 祐典	60	山口県	*
474	松本 勲	44	山口県	*
475	綿谷 幸治	48	山口県	山口県庁
476	田中 克実	47	山口県	山口県警察RC
477	市瀬 悟	49	山口県	* 防府走龍会
478	三宅 章夫	36	山口県	*
479	山田 隆信	52	山口県	*
480	請川 互	44	山口県	*
481	石田 英明	55	山口県	* 長州楽走会
482	後山 慎一	54	山口県	* 藤山消防団
483	原田 三千丈	56	山口県	維新ランナーズ
484	田中 博幸	65	山口県	宇部興産
485	古屋 隆	68	山口県	山口市陸上競技協会
486	上杉 尚正	51	山口県	* チーム415
487	土井 隆徳	48	山口県	* 松崎小PTA保体部
488	弘中 和則	68	山口県	* 山口県中央会
489	松田 淳一	47	山口県	ユニフォームのアリス
490	白石 成之	59	山口県	*
491	澁谷 耕平	48	山口県	*
492	曾根 尚	34	山口県	* ひらちゅう
493	国本 康喜	45	山口県	* 一力陸上
494	藤井 聖	54	山口県	* 防府市立華陽中学校
495	谷野 孝尚	47	山口県	*
496	野村 倫夫	52	山口県	*
497	内田 芳朗	39	山口県	*
498	塩満 匡幸	43	山口県	*
499	松野 晋	34	山口県	*
500	石田 恭二	57	山口県	*
501	新井 教夫	56	山口県	* 小月タイヤ工業所
502	山本 聖史	55	山口県	山口市役所
503	河村 英昭	44	山口県	* 新南陽駅理容所
504	石川 和弘	60	山口県	*
505	角田 和義	58	山口県	出光興産徳山
506	山本 栄助	46	山口県	*
507	齋藤 聡司	30	山口県	*
508	座間 貴之	35	山口県	* 東雲研究所
509	高田 典克	50	山口県	*
510	小野 一彦	38	山口県	* 三協モータース
511	常岡 昌史	42	山口県	*
512	牛見 誠	48	山口県	*
513	岡田 克彦	61	山口県	*
514	中村 洋介	36	山口県	*
515	長尾 学	55	山口県	*
516	大塚 悠人	26	山口県	* もーりーマラソン部
517	上田 剣二郎	52	山口県	*
518	松村 義憲	54	山口県	* ひかり苑
519	畑瀬 英史	55	山口県	*
520	大田 倫之	35	山口県	大和走ろう会
521	三ヶ尻 検	49	山口県	* (株) サンポリ
522	清水 徳雄	53	山口県	チーム■しみず
523	三浦 浩一	47	山口県	* 株式会社長府製作所
524	上村 泰正	52	山口県	* チームサイクルプラス

No	氏 名	年齢	都道府県	所 属
525	河村 裕介	44	山口県	*
526	樋口 行人	50	山口県	LAC
527	岡村 周亮	40	山口県	*
528	松永 雅志	37	山口県	*農試走ろう会
529	山田 誠治	54	山口県	山口県庁
530	本村 哲久	52	山口県	*
531	藤本 龍史	41	山口県	*
532	井上 裕馬	32	山口県	海響AC
533	生方 健	57	山口県	*うぶラン
534	末廣 哲也	35	山口県	*
535	徳重 雅樹	36	山口県	山口県庁
536	徳田 陽一	52	山口県	*
537	井上 睦夫	55	山口県	山口陸協
538	芳西 孝行	50	山口県	*
539	井上 亮太	30	山口県	*防府市消防本部
540	谷野 聡	51	山口県	*山口合同ガス(株)
541	松田 幸治	62	山口県	*
542	森重 敦	53	山口県	*
543	大田 淳夫	57	山口県	*
544	右田 太祐	36	山口県	*
545	永井 健悟	43	山口県	*
546	砂田 修	60	山口県	*
547	横山 隆志	49	山口県	*オレンジハウス
548	宇都宮 茂雄	63	山口県	*さくら組
549	山県 佑太	37	山口県	*
550	仲 徹	61	山口県	*関門医療
551	橋爪 雄佑	28	山口県	*東ソー
552	渡邊 裕亮	27	山口県	*
553	波多野 耕三	39	山口県	*山口ランネット
554	原田 正美	66	山口県	*
555	藤本 祐二	52	山口県	*
556	清水 美智雄	57	山口県	*
557	清水 元気	30	山口県	*
558	大中 嘉文	61	山口県	*JCHO下関
559	清水 稔夫	57	山口県	*
560	町田 貢	43	山口県	*
561	野口 裕二	65	山口県	フットパーク
562	西山 優太	42	山口県	*三協モータース
563	熊崎 大樹	45	山口県	*
564	小林 章哉	53	山口県	*お話聞く屋さん
565	川上 雅敏	44	山口県	*
566	奥屋 利彦	58	山口県	*米泉湖走遊会
567	藤永 敬治	56	山口県	*JFS
568	横川 大輔	40	山口県	*Mラン
569	棟久 誠也	45	山口県	*
570	浅田 典宏	46	山口県	*
571	内田 直樹	27	山口県	*山口銀行
572	上田 賢一	49	山口県	*防府市教育委員会
573	阿部 正太郎	56	山口県	*防府総合支援学校
574	大橋 亮	47	山口県	*
575	山根 和雄	47	山口県	*
576	田中 真二	60	山口県	*東ソー明専会
577	佐々木 耕治	51	山口県	*
578	植木 雄亮	42	山口県	*千絢ちゃん
579	岩崎 三夫	64	山口県	*ランナーズ 山口
580	椎木 克彦	42	山口県	*
581	木村 賢治	49	山口県	*ひらちゅう
582	藤井 克行	40	山口県	*長門FRC
583	藤村 英博	50	山口県	*
584	河村 正博	56	山口県	*
585	加藤 健志	54	山口県	*
586	鎮波 正明	47	山口県	*ランナーズ山口
587	浦川 学	55	山口県	*県立総合医療センター
588	岡村 威	45	山口県	*山口ランネット
589	清水 克彦	53	山口県	*
590	土山 浩一	60	山口県	*
591	佐伯 寛	43	山口県	*
592	影平 篤志	68	山口県	*米泉湖走遊会
593	河野 英之	43	山口県	*東海カーボン
594	辻 浩明	38	山口県	*
595	三井 豪大	27	山口県	*
596	笠原 翔	35	山口県	*
597	清水 弘幸	53	山口県	*ゆうゆう会
598	長田 進	42	山口県	*涙想創
599	原田 成臣	47	山口県	下松市陸上競技協会
600	原 伸一	56	山口県	*GETSLEI
601	形山 勉	45	山口県	*
602	牛嶋 幸治	51	山口県	*プリヂストン
603	福田 崇	45	山口県	*

No	氏 名	年齢	都道府県	所 属
604	古谷 直人	43	山口県	*
605	藤井 一彦	54	山口県	*夜市マラソン
606	山根 浩司	46	山口県	*Triyama
607	重原 達也	53	山口県	*
608	國安 宏俊	57	山口県	*
609	末永 輝昌	55	山口県	オート電機RC
610	徳吉 敏雄	65	山口県	山口県庁
611	伊藤 新治	46	山口県	*GETSLEI
612	國田 純一	39	山口県	*SON山口
613	蛭川 喜宣	53	山口県	*林兼産業株式会社
614	岡嶋 賢幸	54	山口県	山口県庁
615	毛利 力	66	山口県	*プリヂストン防府OB
616	中村 剛	51	山口県	*
617	田中 浩之	42	山口県	*
618	賀門 武士	44	山口県	*三協モータース
619	大井 幹雄	53	山口県	*維新ランナーズ
620	林 宏明	38	山口県	風月堂岩國
621	田邊 綾治	48	山口県	*
622	西田 勝男	59	山口県	*
623	河内 一	71	山口県	*
624	中尾 英紀	48	山口県	*
625	倉田 佳典	38	山口県	*
626	吉松 利樹	45	山口県	*
627	大金 幸一	46	山口県	*日立春日部
628	上田 武志	47	山口県	*
629	荒瀬 一郎	61	山口県	遊ランクラブ
630	西村 光二	52	山口県	*
631	山根 誉輝	49	山口県	*
632	池谷 康弘	51	山口県	*山口FG
633	梅森 竜吾	35	山口県	*プリヂストン防府
634	濱田 和宏	52	山口県	*海響AC
635	大亀 正経	26	山口県	大和走ろう会
636	藤本 雄也	34	山口県	*
637	中野 秀俊	60	山口県	*瀬戸崎鉄工
638	野村 泰	53	山口県	*
639	中邑 拓哉	29	山口県	*
640	中村 清	57	山口県	*YMFG
641	皿田 哲也	52	山口県	*
642	山縣 靖	53	山口県	*山口消防
643	佐古 康彦	64	山口県	*イオン防府店
644	掛部 晋	47	山口県	*山海!
645	堀池 誠	41	山口県	*
646	三戸 育治	63	山口県	*
647	安村 健太郎	44	山口県	*
648	生方 宏顕	27	山口県	*うぶラン
649	生方 祐史郎	33	山口県	*
650	藤永 礼三	80	山口県	*
651	野間 康宏	48	山口県	*
652	谷川 清志	64	山口県	*山口ランネット
653	重本 博美	71	山口県	*
654	竹中 一浩	46	山口県	*
655	頼岡 実	58	山口県	*
656	宮嶋 誠二	39	山口県	*
657	中村 和正	30	山口県	*
658	林 慎一	41	山口県	*
659	土田 淳司	52	山口県	*SAIKYO
660	山本 篤真	46	山口県	*H.K.J
661	松本 竜一	34	山口県	*とくち苑
662	松野 朋宏	48	山口県	*日ボリ産業
663	伊藤 誠	48	山口県	*
664	田中 泰博	63	山口県	*
665	阿部 康弘	46	山口県	*防府市消防本部
666	山本 知弘	37	山口県	*とくれつ
667	香月 豊文	73	山口県	*RCマリコ下関
668	永田 一朗	41	山口県	*ランナッツ
669	若松 栄一郎	50	山口県	*
670	森本 健治	53	山口県	*まるたき呉服RC
671	原田 晴郎	42	山口県	*
672	小野 正義	57	山口県	*山口銀行
673	大山 弘	52	山口県	*酒と泪と弘とランナー
674	井伊 斉昭	50	山口県	*サケルグミ。
675	河野 芳典	56	山口県	*林兼産業株式会社
676	森友 信之	47	山口県	*西京銀行
677	谷 和剛	27	山口県	*
678	門脇 敏也	63	山口県	*
679	相山 成円	48	山口県	*
680	浜口 豊	51	山口県	*
681	杉井 邦彦	38	山口県	*
682	南 雅史	64	山口県	*アミノラン・光

男性競技者

ATHLETES (MALE)

*印は日本陸連未登録者

No	氏名	年齢	都道府県	所属
683	藤井 伸浩	54	山口県	*東ソーSGM
684	右田 享丈	33	山口県	*
685	呉 秀明	36	山口県	*
686	銭本 徹	55	山口県	*農試走ろう会
687	中 雅史	43	山口県	*
688	渡邊 賢治	53	山口県	*
689	大島 誠	42	山口県	*
690	藤林 良一	62	山口県	FILWEL
691	篠森 英佐	43	山口県	*大原学園
692	北村 靖二	55	山口県	*航空自衛隊防府北基地
693	木村 一雄	74	山口県	*遊ランクラブ
694	熊本 淳	46	山口県	*
695	出穂 耕嗣	40	山口県	*
696	三浦 実	58	山口県	*維新ランナーズ
697	浅川 宏治	45	山口県	*
698	木下 和弥	21	山口県	*山口大学
699	鬼村 将也	34	山口県	*
700	大宮 直也	31	山口県	*
701	野崎 修	67	山口県	*
702	西永 浩司	59	山口県	*
703	原田 一就	40	山口県	*
704	今津 里志	65	山口県	*小野田重機
705	中邑 賢治	61	山口県	*
706	白木 紘平	43	山口県	*岩国市役所
707	吉本 満	33	山口県	*
708	山内 貞彦	69	山口県	*
709	黒瀬 康太	49	山口県	*

女性競技者

ATHLETES (FEMALE)

*印は日本陸連未登録者

No	氏名	年齢	都道府県	所属
5001	岩出 玲亜	27	千葉県	千葉陸協
5002	佐藤 奈々	32	千葉県	スターツ
5003	中村 瑠花	28	愛知県	Run up
5004	吉松 久恵	42	山口県	周南市役所
5005	藤澤 舞	47	北海道	札幌エクセルAC
5006	横田 知佳	28	山口県	西部石油
5007	筒本 恭実	37	広島県	広島県庁RC
5008	岩村 聖華	37	熊本県	
5009	文村 美和	48	大分県	
5010	志水 麻紗	40	兵庫県	尼崎陸協
5011	兼松 藍子	41	愛知県	TEAMR×L
5012	山崎 絵里子	35	東京都	TeamM×K
5013	中村 美香	50	東京都	
5014	薄井 身之	46	大阪府	ハイウインド
5015	池亀 綾実	29	千葉県	AC・KITA
5016	納 麻美	40	大阪府	ナイトランAC
5017	海老原 美保	48	東京都	AC・KITA
5018	大谷 潤子	46	兵庫県	
5019	東 奈々	42	広島県	大和走友会
5020	青山 由佳	35	神奈川県	相模原市役所RC
5021	橘 彩	44	東京都	湘南美容
5022	本山 桃子	25	東京都	東京陸協
5023	清水 穂高	25	大阪府	GRIlab
5024	下村 亜夕美	43	佐賀県	itoixRC
5025	合田 睦美	44	愛媛県	四国中央市陸協
5026	唐本 由紀	53	山口県	周南市陸協
5027	渡辺 まゆみ	53	東京都	
5028	福田 友衣	26	山口県	光市役所
5029	好士 理恵子	42	東京都	えもと塾
5030	西村 沙織里	35	東京都	ハノハノ陸上部
5031	吉光 和恵	59	岡山県	倉敷福田走友会
5032	下平 磨利子	49	東京都	リスタート
5033	岡田 奈巳	42	三重県	
5034	正木 裕美	48	東京都	東京陸協
5035	鈴木 純子	50	兵庫県	三菱重工神戸
5036	植木 博子	48	兵庫県	ユニバーSC
5037	田代 紀子	47	神奈川県	eA東京
5038	根元 香苗	32	埼玉県	青春ランナーズ
5039	松野 真帆	32	愛知県	安城快足AC
5040	大地 穂	39	東京都	
5041	安留 ゆかり	30	神奈川県	中山会計陸上部
5042	藤田 友里恵	28	山口県	OHaGi

女性競技者

ATHLETES (FEMALE)

*印は日本陸連未登録者

No	氏名	年齢	都道府県	所属
5043	榎本 久子	44	神奈川県	AC・KITA
5044	山口 みゆき	56	兵庫県	尼崎ナイトランナーズ
5045	永長 佐智子	50	兵庫県	明石大橋AC
5046	山田 千絵	52	福岡県	FRAC北九州
5047	遠藤 麻美	44	東京都	東京陸協
5048	足立 結香	35	福岡県	本城陸上クラブ
5049	山越 千佳	39	茨城県	茨城陸協
5050	堀川 はる菜	27	愛知県	RunUp
5051	広田 和子	50	千葉県	*TKD-BRC
5052	原田 和恵	33	山口県	*ランプロRC
5053	清水 恵子	46	山口県	
5054	和田 実	25	山口県	大和走ろう会
5055	川戸 亜子	46	山口県	Kプロジェクト
5056	田村 由紀	50	山口県	
5057	武居 修子	53	山口県	下松小学校
5058	横井 由貴子	58	山口県	防府市陸上競技協会
5059	西嶋 智美	39	山口県	*
5060	日名内 ゆか	45	山口県	*
5061	濱田 浩子	51	山口県	海響AC
5062	藤谷 留美	51	山口県	*
5063	山崎 麻里	43	山口県	*維新ランナーズ
5064	福村 美帆	46	山口県	福村眼科
5065	久保 菜穂	45	山口県	T.VIVA!
5066	福田 紗織	30	山口県	周南市陸協
5067	小山 佳代	52	山口県	
5068	古田 晴美	52	山口県	*
5069	藤本 妙	56	山口県	*下関市立吉田小学校
5070	前坂 葉	27	山口県	*下松市消防本部
5071	和田 美紀	49	山口県	*森宗スマイルRC
5072	山本 美由紀	49	山口県	*日本光電
5073	落合 了子	40	山口県	*
5074	鳴本 恵理子	48	山口県	*温泉同好会
5075	藤本 恵美	45	山口県	*維新ゴルフ部
5076	山城 佳奈恵	33	山口県	*
5077	本田 尚美	51	山口県	*維新ランナーズ
5078	酒井 裕美	50	山口県	*
5079	長尾 佳代	49	山口県	*
5080	香月 早苗	61	山口県	*
5081	中野 真理子	45	山口県	*岡小路ランナーズ
5082	田崎 陽子	38	山口県	*長府遊ラン会
5083	植田 靖子	55	山口県	*
5084	青木 美和子	32	山口県	*
5085	三井 亜子	49	山口県	*上宇部中学校
5086	金山 香織	52	山口県	*維新ランナーズ
5087	小森 真白	57	山口県	*
5088	松本 真佐美	58	山口県	*
5089	柴川 久美子	60	山口県	*
5090	林 美奈子	52	山口県	*海響AC
5091	末廣 小百合	53	山口県	*維新ランナーズ
5092	山根 美絵	43	山口県	*
5093	後藤 由佳	49	山口県	*海響AC

IPC登録競技者

IPC (MALE/FEMALE)

*印は日本陸連未登録者

IPC登録男子

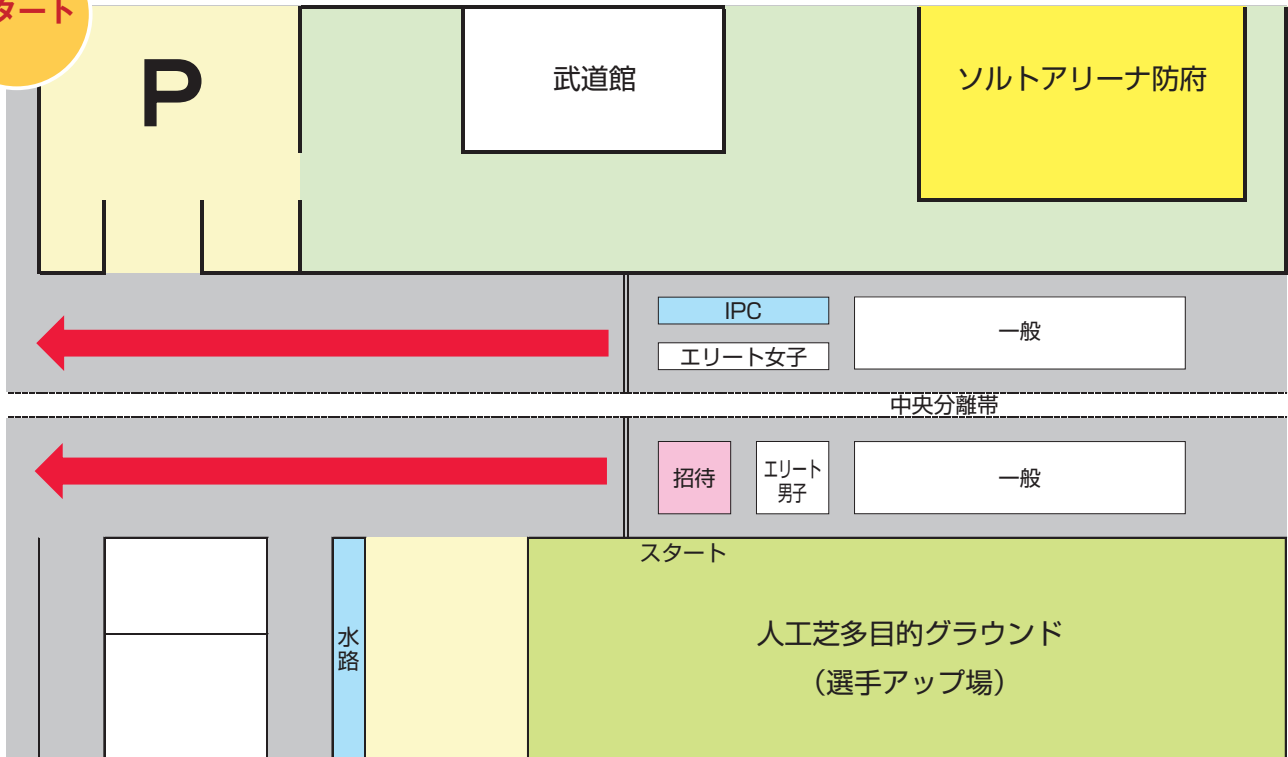
No	氏名	年齢	都道府県	所属
4001	熊谷 豊	34	東京都	三井住友海上
4002	高井 俊治	35	徳島県	D2C
4003	山下 慎治	38	福岡県	コロブラ
4004	米岡 聡	36	東京都	三井住友海上
4005	加治佐 博昭	47	栃木県	*JBMA

IPC登録女子

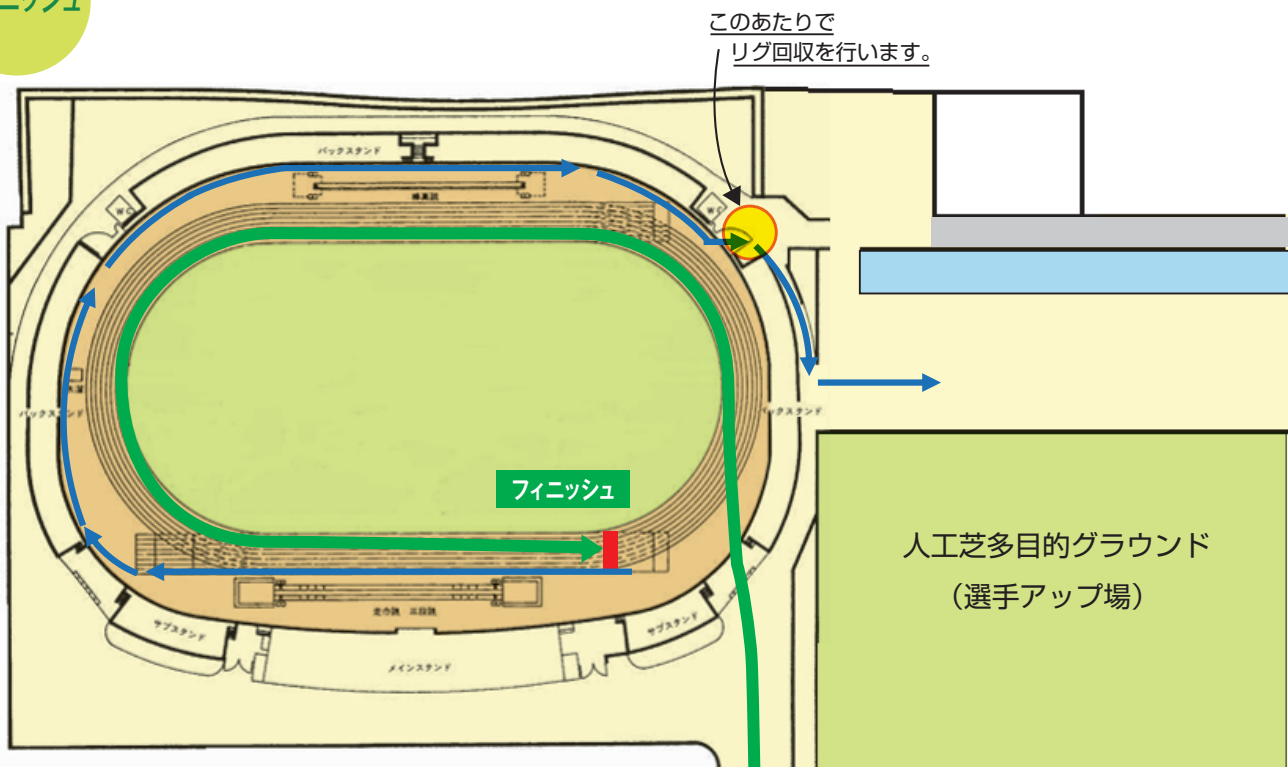
No	氏名	年齢	都道府県	所属
4101	道下 美里	44	福岡県	三井住友海上
4102	青木 洋子	43	東京都	NTTクラレティ
4103	近藤 寛子	55	滋賀県	滋賀銀行
4104	井内 菜津美	32	京都府	みずほFG
4105	西村 千香	49	大阪府	岸和田健康クラブ
4106	金野 由美子	60	東京都	JBMA
4107	和木 菜奈海	22	大阪府	

スタート・フィニッシュ位置図

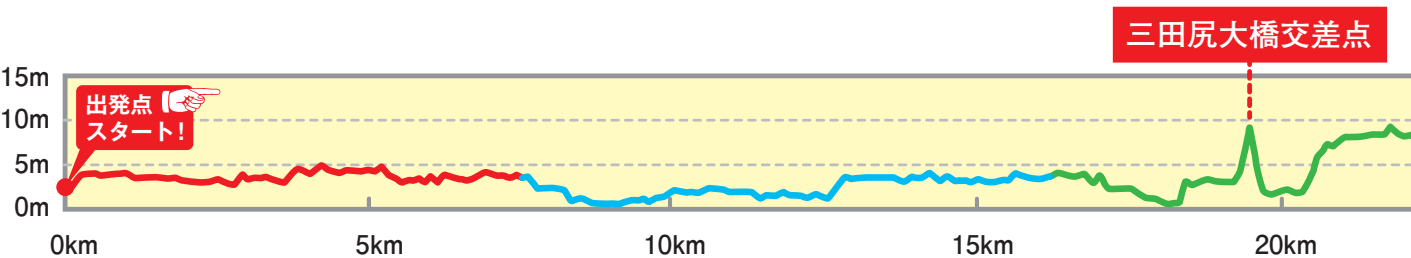
スタート



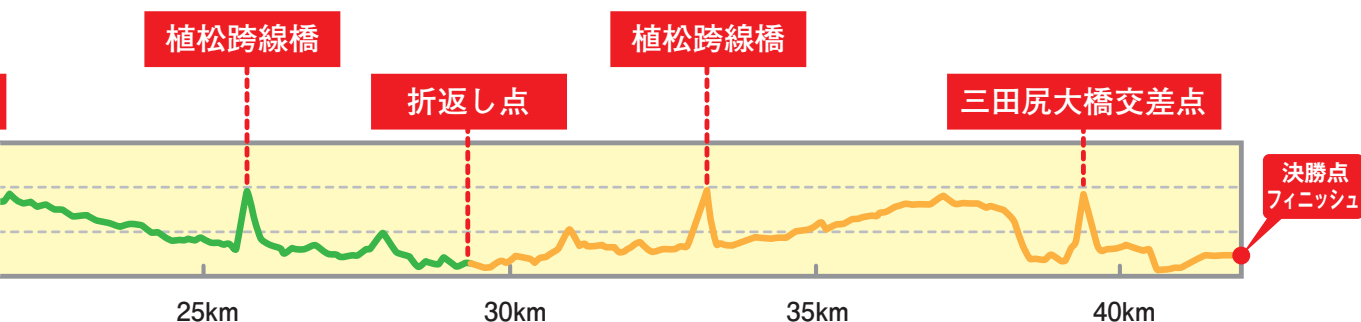
フィニッシュ



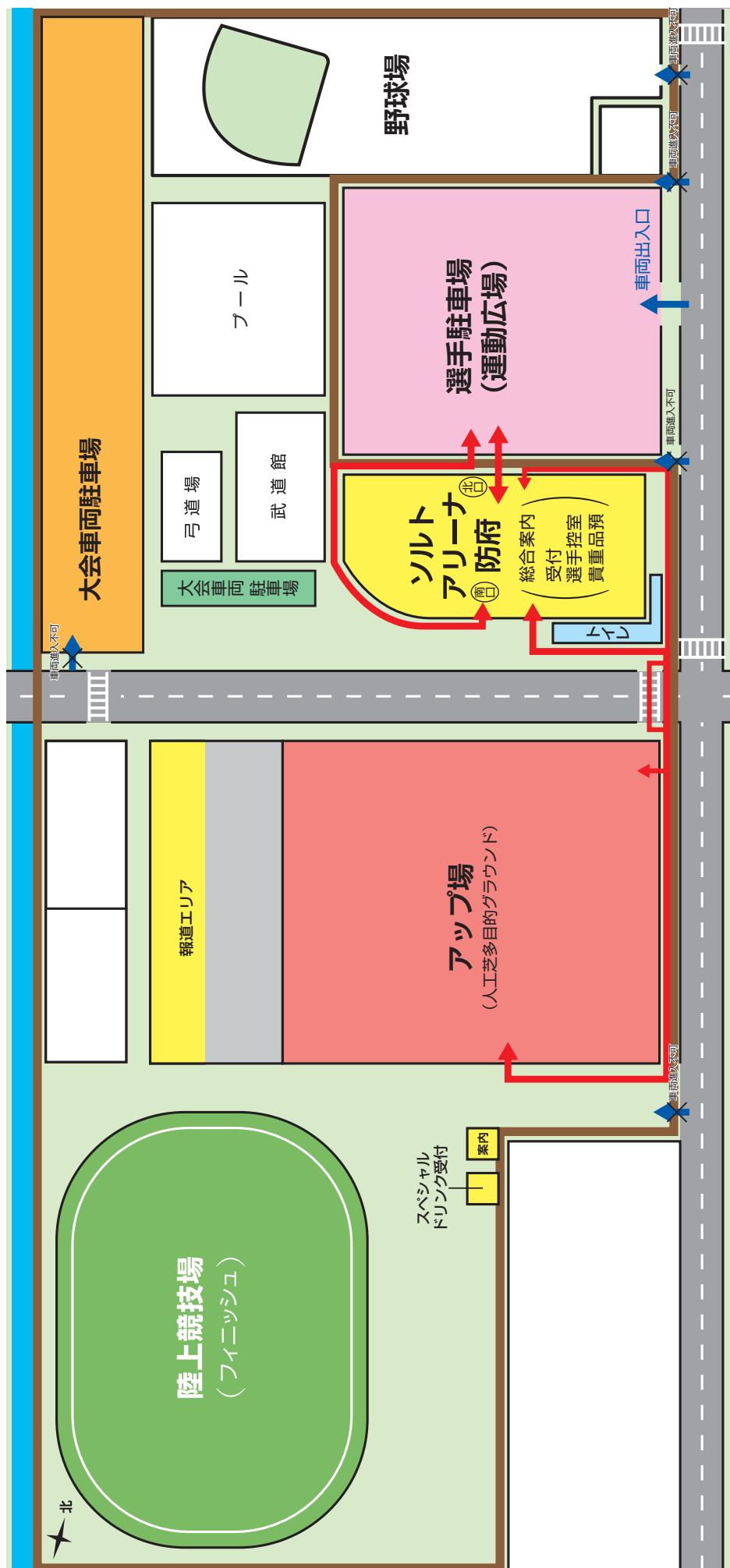
第52回防府読売マラ



ソン大会 コース図



第52回防府読売マラソン大会 会場案内図



●選手受付・控室・貴重品預かり

選手受付・控室・貴重品預：キリンレモンスタジアム
ソルトアリーナ防府(体育館)
(北口：一般選手入場口
南口：エリート選手入場口)
人工芝多目的グラウンド・陸上競技場に荷物の預かり所はありません。

※今大会、人工芝多目的グラウンドに選手控えテントはございません。
※貴重品の預かり・返却時にはアスリートビブスをご提示ください。
※貴重品袋の大きさは縦約 28cm× 横約 24 cm です。
※主催者は盗難・紛失等の責任は一切負いませんので、荷物の管理には十分注意してください。

●スタート・フィニッシュ

スタート地点はソルトアリーナ防府と人工芝多目的グラウンドの間の県道58号線です。
※号砲 20 分前から整列をお願いします。
フィニッシュ地点は陸上競技場です。

●アップ場

アップの際は、人工芝多目的グラウンドをご利用ください。

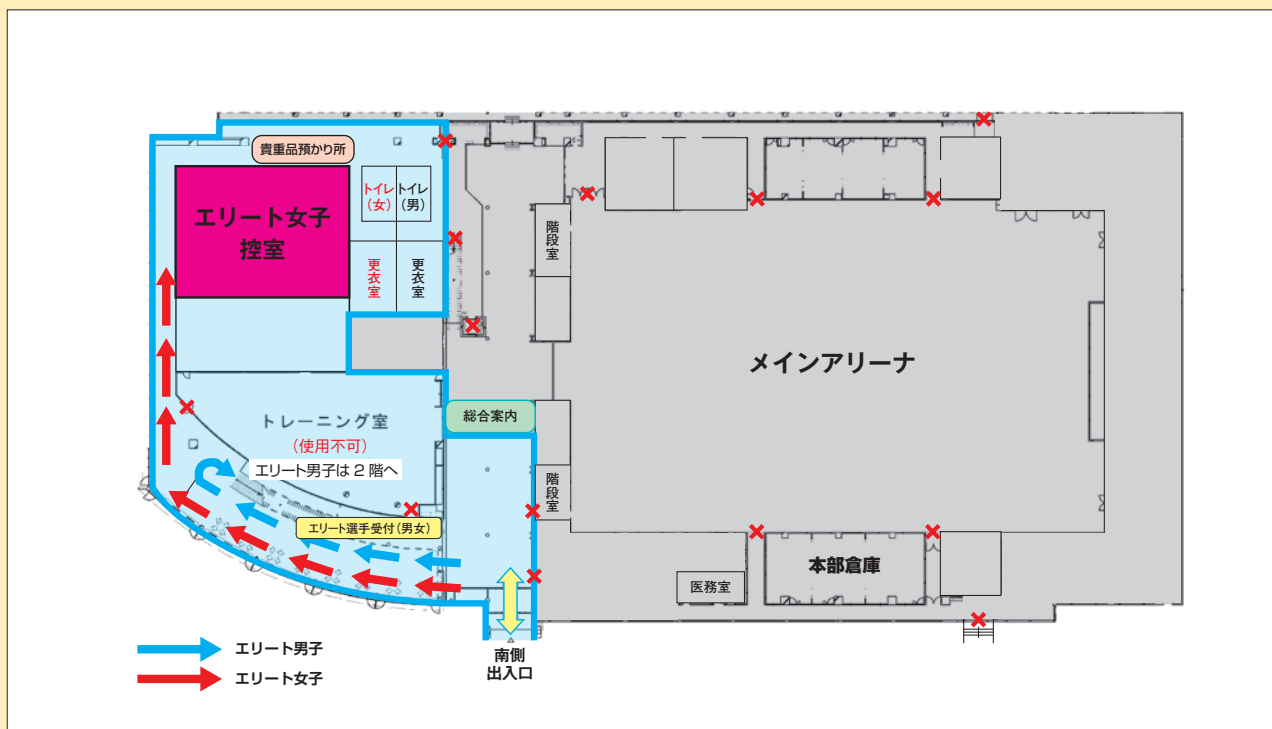
●入場制限について

太線()内は、選手及び大会関係者のみ入場可能です。選手のご家族等、お連れ様の入場もできません。入場の際、参加案内またはアスリートビブスをご提示下さい。
※スタート地点の県道 58 号線は 11 時の交通規制後、入場制限を行います。

ソルトアリーナ防府案内図 〈エリート選手〉

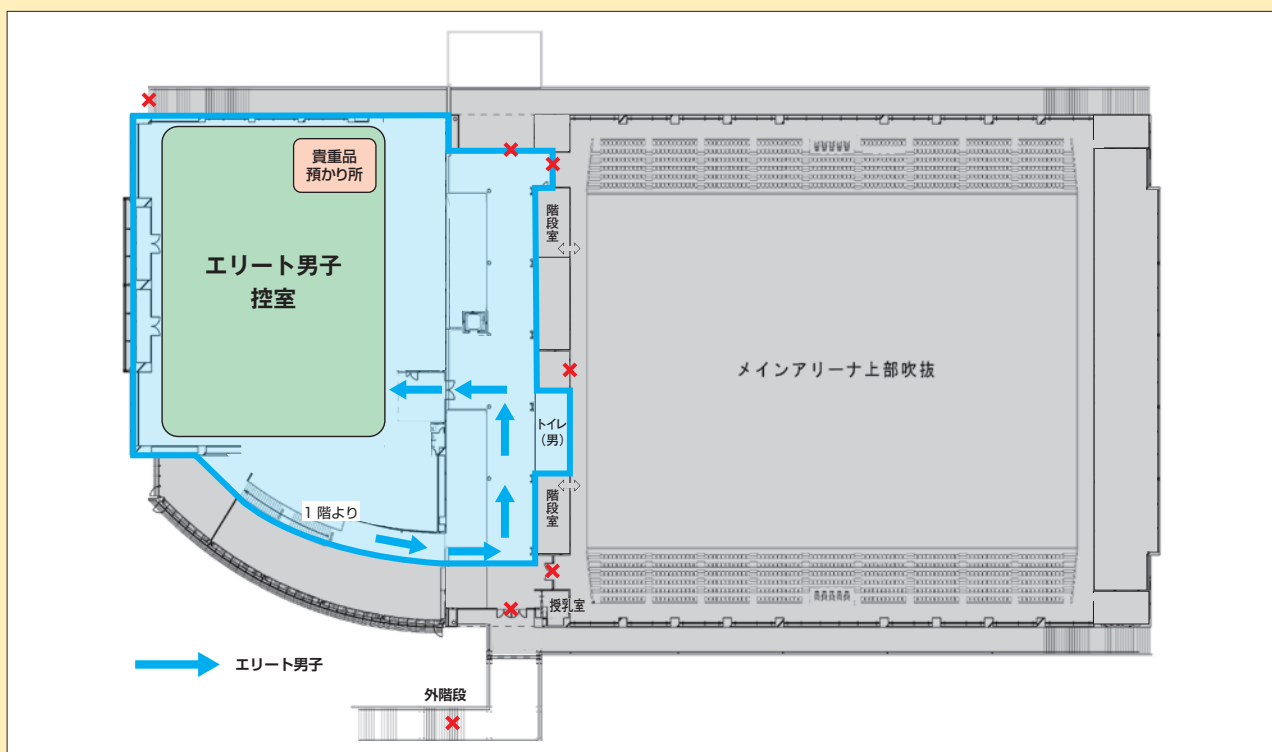
ソルトアリーナ 1F

※ソルトアリーナ防府南側出入口は、エリート選手のみ通行可能です。



ソルトアリーナ 2F

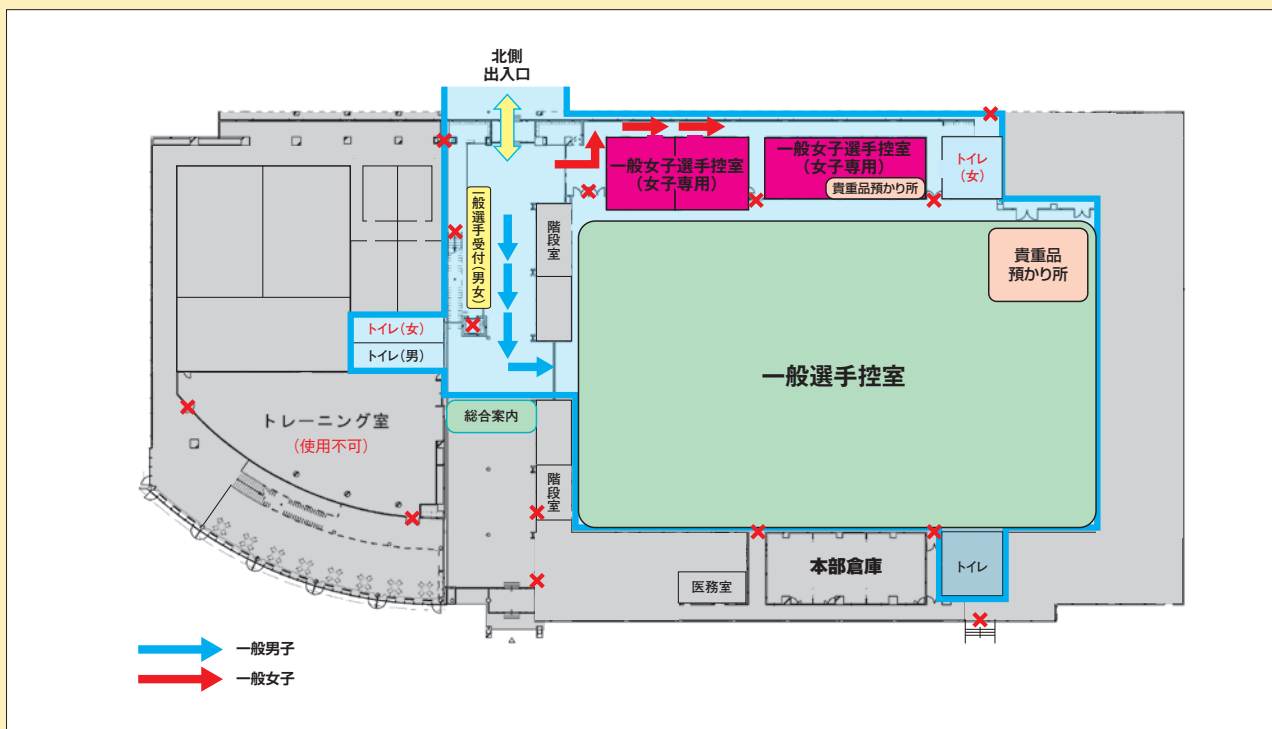
※ソルトアリーナ防府 2 階フロアへは、エリート男子のみ通行可能です。



ソルトアリーナ防府案内図 〈一般選手〉

ソルトアリーナ 1F

※ソルトアリーナ防府北側出入口は、一般選手のみ通行可能です。



▲ソルトアリーナ前をスタートする選手たち(第51回大会)

防府読売マラソン大会の歴史（歴代優勝者）

マラソン男子の部

1回	上原 敏彦	(東洋ベアリング)	2時間15分49秒8	27回	堀尾 典臣	(積 水 化 学)	2時間12分21秒
2回	中村 正美	(電 電 中 国)	2時間17分52秒8	28回	石本 孝幸	(旭 化 成)	2時間11分23秒
3回	佐々木精一郎	(神 戸 製 鋼 所)	2時間20分47秒6	29回	徳永 大輔	(鐘 紡)	2時間11分38秒
4回	佐藤 直行	(東洋ベアリング)	2時間19分10秒4	30回	渡辺 共則	(旭 化 成)	2時間09分40秒
5回	酒見 勝喜	(鐘 紡)	2時間16分04秒0	31回	W. グリンカ	(ポ ー ラ ン ド)	2時間11分40秒
6回	益田 豊一	(鐘 紡)	2時間19分13秒6	32回	H. ヌグセ	(エ チ オ ビ ア)	2時間10分32秒
7回	佐藤 進	(旭 化 成)	2時間17分22秒8	33回	H. ヌグセ	(エ チ オ ビ ア)	2時間08分16秒
8回	斉藤 一夫	(福 島 陸 協)	2時間16分32秒1	34回	佐藤 浩紀	(カ ネ ボ ウ)	2時間15分04秒
9回	武富 豊	(神 戸 製 鋼)	2時間15分06秒4	35回	H. アベベ	(エ チ オ ビ ア)	2時間13分20秒
10回	佐藤 進	(旭 化 成)	2時間15分43秒	36回	吉橋 慧	(九 電 工)	2時間17分12秒
11回	三村 光明	(九 州 産 交)	2時間17分32秒	37回	里内 正幸	(ス ズ キ 株)	2時間15分04秒
12回	立川 勝浩	(旭 化 成)	2時間19分35秒	38回	中森 一也	(大 塚 製 薬)	2時間15分40秒
13回	菅谷 久二	(電 電 東 京)	2時間14分29秒	39回	伊藤健太郎	(協和発酵バイオ)	2時間16分01秒
14回	入江田吉文	(菱 田 小 職 員)	2時間15分40秒	40回	澁谷 明憲	(柳 河 精 機)	2時間13分58秒
15回	長島 浩	(ダ イ エ ー)	2時間14分53秒	41回	Ser-Od Bat-Ochir	(モ ン ゴ ル)	2時間14分49秒
16回	中井 良晴	(N T T 中 国)	2時間13分24秒	42回	Ser-Od Bat-Ochir	(モ ン ゴ ル)	2時間11分56秒
17回	田村 尚史	(協 和 発 酵 防 府)	2時間15分18秒	43回	川内 優輝	(埼 玉 県 庁)	2時間10分46秒
18回	山根 信二	(府中市海洋センター)	2時間16分43秒	44回	Ser-Od Bat-Ochir	(モ ン ゴ ル)	2時間09分00秒
19回	藤重 秀之	(N T T 中 国)	2時間16分20秒	45回	川内 優輝	(埼 玉 県 庁)	2時間09分46秒
20回	安里 俊光	(旭 化 成)	2時間16分41秒	46回	藤原 新	(ミ キ ハ ウ ス)	2時間11分50秒
21回	李 昌 雨	(韓 国)	2時間12分10秒	47回	橋本 岐	(GMOアスリート)	2時間11分20秒
22回	李 昌 雨	(韓 国)	2時間12分51秒	48回	川内 優輝	(埼 玉 県 庁)	2時間10分03秒
23回	橋口 良登	(旭 化 成)	2時間14分43秒	49回	川内 優輝	(埼 玉 県 庁)	2時間11分29秒
24回	橋口 良登	(旭 化 成)	2時間14分03秒	50回	KIPROTICH, Mathew	(ケ ニ ア)	2時間10分47秒
25回	阿部 健	(佐 川 急 便)	2時間14分25秒	51回	丸山 竜也	(八 千 代 工 業)	2時間09分36秒
26回	金 基 福	(韓 国)	2時間16分07秒				

マラソン女子の部

40回	平尾 紀子	(F - D R E A M)	2時間45分08秒
41回	吉冨 博子	(佐 賀 陸 協)	2時間38分01秒
42回	吉松 久恵	(周 南 市 役 所)	2時間44分28秒
43回	平井恵美子	(枚方マスターズ)	2時間45分44秒
44回	吉松 久恵	(周 南 市 役 所)	2時間37分57秒
45回	吉松 久恵	(周 南 市 役 所)	2時間37分55秒
46回	吉松 久恵	(周 南 市 役 所)	2時間35分46秒
47回	吉松 久恵	(周 南 市 役 所)	2時間40分21秒
48回	加藤 岬	(九 電 工)	2時間28分12秒
49回	吉松 久恵	(周 南 市 役 所)	2時間38分58秒
50回	吉松 久恵	(周 南 市 役 所)	2時間39分22秒
51回	赤坂 よもぎ	(ス タ ー ツ)	2時間29分21秒

マラソン男子IPC登録の部

46回	熊谷 豊		2時間39分40秒
47回	熊谷 豊	(A C - K I T A)	2時間31分25秒
48回	熊谷 豊		2時間32分12秒
49回	熊谷 豊	(三 井 住 友 海 上)	2時間43分20秒
50回	山下 慎治	(シーズアスリート)	2時間39分13秒
51回	堀越 信司	(N T T 西 日 本)	2時間22分28秒

マラソン女子IPC登録の部

46回	道下 美里	(J B M A)	2時間59分32秒
47回	藤井由美子	(びわこタイマーズ)	3時間17分52秒
48回	道下 美里	(三 井 住 友 海 上)	2時間56分14秒
49回	道下 美里	(三 井 住 友 海 上)	3時間02分11秒
50回	道下 美里	(三 井 住 友 海 上)	2時間58分50秒
51回	道下 美里	(三 井 住 友 海 上)	2時間54分13秒

10キロ壮年の部

1回	貞永 信義	(全 鐘 紡)	31分39秒4
2回	貞永 信義	(全 鐘 紡)	32分32秒2
3回	貞永 信義	(鐘 紡)	33分16秒4
4回	篠原弥一郎	(大 和 陸 協)	33分41秒2

40才

5回	松尾 一	(岩 尾 磁 器)	33分23秒
6回	君野 弘明	(建 設 省 鳥 取)	33分16秒
7回	金沢 弘行	(熊 本 走 ろ う 会)	33分15秒
8回	生田 一男	(山 野 商 事)	33分15秒2
9回	大坪 義昭	(長 崎 短 足 会)	32分52秒3
10回	岩本 忠利	(武 田 薬 品 光)	32分04秒3
11回	岩本 忠利	(武 田 薬 品)	32分04秒
12回	岩本 忠利	(武 田 薬 品)	32分07秒
13回	藤井 政幸	(新 日 鉄 光)	31分56秒

50才

5回	山口 一	(佐 世 保 重 工)	34分51秒
6回	山口 一	(佐 世 保 重 工)	35分37秒
7回	山口 一	(佐 世 保 重 工)	33分15秒
8回	高瀬 壽郎	(京 都 走 ろ う 会)	35分35秒1
9回	高瀬 壽郎	(京 都 走 ろ う 会)	34分54秒2
10回	高瀬 壽郎	(京 都 走 ろ う 会)	35分40秒6
11回	福重 豊	(東 洋 曹 達)	34分50秒
12回	藤家 迪雄	(鹿 島 マラソンクラブ)	36分10秒
13回	福重 豊	(東 洋 曹 達)	34分59秒

60才以上

5回	緒方 三郎	(熊 本 走 会)	40分22秒
6回	緒方 三郎	(熊 本 走 ろ う 会)	40分41秒
7回	緒方 三郎	(熊 本 走 ろ う 会)	41分11秒
8回	三浦 卓郎	(ほるぶマラソン学級)	39分44秒2
9回	三浦 卓郎	(大阪ランニング協会)	38分56秒1
10回	三浦 卓郎	(大阪ランニング協会)	39分50秒4
11回	木山 憲章	(三 次 走 友 会)	42分42秒
12回	井町 到	(北九州走ろう会)	41分36秒
13回	西村 由蔵	(京 都 一 八 清 R C)	36分37秒

壮年

14回	藤井 政幸	(新 日 鉄 光)	31分59秒
15回	藤井 政幸	(新 日 鉄 光)	32分23秒
16回	中田 勝利	(池 田 高)	32分08秒
17回	宮本 武利	(ヤンボースポーツC)	31分59秒
18回	山田富三男	(協 和 発 酵 宇 部)	31分35秒
19回	山田富三男	(協 和 発 酵 宇 部)	31分38秒
20回	山田富三男	(協 和 発 酵 宇 部)	31分06秒
21回	山田富三男	(協 和 発 酵 宇 部)	31分39秒
22回	坂本 寛二	(広 島 県 警)	33分14秒
23回	藤井 典明	(武 田 薬 品 光)	32分08秒
24回	石津 剛	(大 竹 市 陸 協)	31分14秒
25回	石津 剛	(大 竹 市 陸 協)	32分02秒
26回	阿部 健	(も み じ A C)	31分28秒
27回	中野 良二	(久 留 米 市 陸 協)	31分43秒
28回	中野 良二	(久 留 米 市 陸 協)	32分00秒
29回	石津 剛	(大 竹 市 陸 協)	32分06秒
30回	上甕町 仁	(大 竹 市 陸 協)	32分21秒
31回	徳原 峰男	(徳 山 市 陸 協)	32分57秒
32回	豊田 康正	(光 陸 協)	32分59秒
33回	村山 浩敏	(九 州 柳 河 精 機)	32分59秒
34回	宮下 信一	(法 友 ク ラ ブ)	32分48秒
35回	豊田 康正	(武 田 薬 品)	33分46秒
36回	北里 信雄	(直 鞍 ク ラ ブ)	33分23秒
37回	宮崎 祐行	(合 志 技 研 RC)	33分38秒
38回	田中 嘉弘	(別 府 自 衛 隊)	33分40秒
39回	北里 信雄	(直 鞍 ク ラ ブ)	32分49秒
40回	宮崎 祐行	(合 志 技 研 RC)	32分32秒
41回	北里 信雄	(直 鞍 ク ラ ブ)	32分29秒
42回	藤野 浩一	(広 島 市 陸 協)	31分46秒
43回	藤野 浩一	(広 島 市 陸 協)	31分20秒

10キロ高校の部

3回	山口 清隆	(福岡大付属大濠高校)	32分28秒0
4回	竹中 数弘	(奈 古 高 校)	31分57秒2
5回	吉積 正幸	(九 州 工 業 高 校)	31分12秒6
6回	朴 元 根	(韓 国)	29分54秒4
7回	林 相 圭	(韓 国)	31分18秒4
8回	朴 京 徳	(韓国大憲工業高校)	30分35秒1
9回	内海 清志	(美 祿 工 業 高 校)	31分07秒1
10回	山本 孝一	(宇 部 鴻 城 高 校)	30分36秒7
11回	藤永 清美	(美 祿 工 業 高 校)	30分36秒
12回	村上 亨史	(西 脇 工 業 高 校)	30分52秒
13回	松田 勝治	(宇 部 鴻 城 高 校)	30分28秒
14回	橋本 康	(西 脇 工 業 高 校)	30分15秒
15回	綾部 健二	(浮 羽 高 校)	30分40秒
16回	盧 相 根	(韓 国)	30分38秒
17回	早田 俊幸	(岐 阜 商 業 高 校)	30分50秒
18回	岩本 照暢	(八幡大付属高校)	30分27秒
19回	櫛部 静二	(宇 部 鴻 城 高 校)	30分22秒
20回	黄 永 祚	(韓国明崙高校)	29分31秒
21回	有隅 剛志	(福岡大学付属大濠高校)	29分56秒
22回	有隅 剛志	(福岡大学付属大濠高校)	29分39秒
23回	高橋 宏幸	(米 子 商 業 高 校)	30分33秒
24回	梅木 蔵雄	(宇 部 鴻 城 高 校)	30分17秒
25回	入江 承司	(米 子 商 業 高 校)	30分36秒
26回	入江 承司	(米子商業高校陸上部)	29分49秒
27回	井中 将貴	(米 子 商 業 高 校)	30分40秒
28回	井中 将貴	(米 子 商 業 高 校)	30分11秒
29回	小畑 昌之	(中 津 工 業 高 校)	30分01秒
30回	長嶺 貴裕	(萩 高 校)	30分21秒
31回	空山 隆児	(世 羅 高 校)	29分51秒
32回	加藤 一機	(米 子 松 蔭 高 校)	30分37秒
33回	加藤 一機	(米 子 松 蔭 高 校)	29分45秒
34回	サムエル ガンガ	(世 羅 高 校)	29分46秒
35回	能登 博康	(米 子 松 蔭 高 校)	31分16秒
36回	金子 幸司	(下 関 第 一 高 校)	30分49秒
37回	小林 頌幸	(広 島 皆 実 高 校)	32分14秒
38回	河村 政伸	(高 水 高 校)	31分28秒
39回	濱本 栄太	(防 府 西 高 校)	31分29秒
40回	佐野瑛一朗	(防 府 西 高 校)	31分21秒
41回	藤井 祐希	(高 川 学 園 高 校)	30分44秒
42回	植田 耕佑	(米 子 松 蔭 高 校)	30分36秒
43回	和田 将治	(豊 北 高 校)	31分19秒

10キロジュニアの部

1回	鎌田 俊明	(全 鐘 紡)	29分23秒2
2回	徳永 豊一	(全 鐘 紡)	30分24秒2
3回	曾我部 潔	(鐘 紡)	31分40秒0
4回	伊藤 国光	(鐘 紡)	29分59秒2
5回	伊藤 国光	(鐘 紡)	28分55秒6
6回	松元 利弘	(鐘 紡)	30分01秒2
7回	松元 利弘	(鐘 紡)	29分45秒2
8回	堀 幸一	(電 電 中 国)	29分47秒5
9回	松山 三政	(小西六陸上競技部)	30分12秒3
10回	小川 治幸	(協 和 発 酵 防 府)	29分57秒1
11回	船井 一雄	(東洋ベアリング)	30分21秒
12回	小辻 吉隆	(安 川 電 機)	29分49秒
13回	只隈 伸也	(電 電 九 州)	29分52秒
14回	清水 悟	(愛 知 製 鋼)	29分35秒
15回	氏家 実	(東洋ベアリング)	30分24秒
16回	船津 太	(安 川 電 機)	29分20秒
17回	豊岡 知博	(鐘 紡)	29分57秒
18回	早田 俊幸	(鐘 紡)	29分41秒
19回	早田 俊幸	(鐘 紡)	28分49秒
20回	金 昆 實	(S E O L U市廳)	29分30秒
21回	小倉 幸康	(鐘 紡)	29分57秒
22回	服部 孝宏	(鐘 紡)	29分40秒
23回	山田 周史	(協 和 発 酵 防 府)	29分27秒
24回	森宗 寛司	(鐘 紡)	29分37秒
25回	樋口 俊志	(徳山大学陸上競技部)	29分26秒
26回	有田 稔	(中 国 電 力)	29分42秒
27回	瀬戸 智弘	(鐘 紡)	29分21秒
28回	藤井 敏行	(広 島 経 済 大 学)	29分46秒
29回	伊藤健太郎	(協 和 発 酵 防 府)	29分32秒

10キロ女子の部

14回	梶島 順子	(京 セ ラ)	36分18秒
15回	熊野 千景	(京 セ ラ)	35分35秒
16回	田中 秀美	(奈 古 高 校)	38分34秒
17回	秋原 里香	(三 池 高 校)	35分46秒
18回	田村 有紀	(日 産 自 動 車)	34分03秒
19回	泥谷 昭希	(福岡第一高校)	35分49秒
20回	竹本 朱里	(米子商業高校)	34分45秒
21回	志垣 千秋	(福岡第一高校)	36分08秒
22回	吉永 和美	(富 士 銀 行)	35分18秒
23回	畠山サユリ	(サニーマート)	35分40秒
24回	遅 永 翠	(ベスト電器)	34分53秒
25回	太田 美紀	(株丸久陸上部)	34分16秒
26回	廣瀬 貴子	(T O T O)	34分21秒
27回	劉 剣 英	(ス ズ キ)	32分25秒
28回	野上 由美	(マ ル キ ユ ウ)	34分37秒
29回	栗林 明美	(鐘 紡)	33分21秒
30回	栗林 明美	(鐘 紡)	33分48秒
31回	小川 純子	(中村女子高校)	34分08秒
32回	橋本麻里子	(ユ ニ ク ロ)	34分41秒
33回	竹内 梓	(T O T O)	34分08秒
34回	ウイン フリーダ	(世 羅 高 校)	33分14秒
35回	張 宝宝	(中 国)	33分49秒
36回	テレシア ワンフグイ	(世 羅 高 校)	35分07秒
37回	矢野真里絵	(広島市商高校)	35分58秒
38回	児玉 啓子	(防 府 市 陸 協)	37分10秒
39回	勝谷 夏美	(宇部鴻城高校)	36分10秒
40回	阪田 愛子	(豊 北 高 校)	37分19秒
41回	阪田 愛子	(豊 北 高 校)	35分08秒
42回	藤田友里恵	(萩 商 工 高 校)	33分49秒
43回	新井沙紀枝	(中村女子高校)	35分11秒

濱 村 杯

かつての名ランナー、濱村秀雄氏の功績を讃え創設した賞で、優秀な新人に贈られる。



濱村秀雄氏の略歴

山口県山口市出身
19度のマラソンに出場し
1955年のボストンマラソン
に優勝するなど輝かしい経
歴を持つ。メルボルン五輪
日本代表。元協和発酵監督。
元ユニクロ陸上部監督。
平成12年5月逝去。

歴代受賞者

1回	上原 敏彦	(東洋ベアリング)	27回	清水 昭	(杵築東芝陸上部)
2回	中村 正美	(電 電 中 国)	28回	有地 毅	(佐 川 急 便)
3回	佐々木精一郎	(神 戸 製 鋼 所)	29回	間野 敏男	(八 幡 麵 屋)
4回	佐藤 直行	(東洋ベアリング)	30回	市来 統	(佐 川 急 便)
5回	酒見 勝喜	(鐘 紡)	31回	山本 章	(協 和 発 酵 宇 部)
6回	益田 豊一	(鐘 紡)	32回	米倉 大輔	(川 崎 重 工)
7回	佐藤 進	(旭 化 成)	33回	沢柳 厚志	(愛 三 工 業)
8回	斉藤 一夫	(福 島 陸 協)	34回	高橋 桂逸	(愛 三 工 業)
9回	武富 豊	(神 戸 製 鋼)	35回	吉富 一成	(J F E)
10回	佐藤 進	(旭 化 成)	36回	清田 武	(NTT西 日 本)
11回	三村 光明	(九 州 産 交)	37回	田中 俊也	(中 国 電 力)
12回	立川 勝浩	(旭 化 成)	38回	榎田 龍一	(カ ネ ボ ウ)
13回	菅谷 久二	(電 電 東 京)	39回	伊藤健太郎	(協 和 発 酵 バイオ)
14回	入江田吉文	(菱 田 小 教 諭)	40回	澁谷 明憲	(柳 河 精 機)
15回	長島 浩	(ダ イ エ ー)	41回	伊藤 太賀	(スズキ浜松AC)
16回	平岡 康生	(日 新 製 鋼 呉)	42回	川内 優輝	(埼 玉 県 庁)
17回	田村 尚史	(協 和 発 酵 防 府)	43回	徳本 一善	(モ ン テ ロ ー ザ)
18回	永井 大介	(鐘 紡)	44回	荻野 皓平	(富 士 通)
19回	鶴崎 健一	(広島大学陸上部)	45回	仁科 徳将	(富 士 通)
20回	山本 浩二	(日 新 製 鋼 呉)	46回	鈴木 忠	(スズキ浜松AC)
21回	村上 享史	(本 田 技 研)	47回	橋本 峻	(GMOアスリート)
22回	白岩 博雄	(神 戸 製 鋼)	48回	濱崎 達規	(南 城 市 役 所)
23回	砂田 貴裕	(大 阪 ガ ス)	49回	山下 伸一	(御殿場滝ヶ原自衛隊)
24回	座安 晃	(沖 電 気 宮 崎)	50回	吉村 大輝	(旭 化 成)
25回	阿部 健	(佐 川 急 便)	51回	丸山 竜也	(八 千 代 工 業)
26回	原口 幸一	(京 セ ラ)			

貞 永 杯

国内外で活躍した貞永信義氏の偉業を讃え創設した賞で、優秀な新人に贈られる。



貞永信義氏の略歴

山口県防府市出身
75度のマラソンに出場し別府（別大）など6度の優勝。
ボストンに3度出場しローマ五輪日本代表。
元鐘紡監督。元山口陸協会長であり元本大会会長。
平成15年2月逝去。

歴代受賞者

1回	上原 敏彦	(東洋ベアリング)	27回	川久保謙一	(中国電力)
2回	中村 正美	(電 電 中 国)	28回	佐藤 浩紀	(鐘 紡)
3回	佐々木精一郎	(神 戸 製 鋼 所)	29回	山本 章	(協和発酵宇部)
4回	佐藤 直行	(東洋ベアリング)	30回	桑本 聡	(積 水 化 学)
5回	酒見 勝喜	(鐘 紡)	31回	伊藤健太郎	(協和発酵防府)
6回	益田 豊一	(鐘 紡)	32回	三浦 寛士	(大 野 郡 陸 協)
7回	佐藤 進	(旭 化 成)	33回	稲垣 孝一	(新 日 鉄 大 分)
8回	斉藤 一夫	(福 島 陸 協)	34回	藤木 浩史	(川 崎 重 工)
9回	武富 豊	(神 戸 製 鋼)	35回	福永 晃大	(ト ヨ タ 九 州)
10回	佐藤 進	(旭 化 成)	36回	天野 元文	(ホ ン ダ 浜 松)
11回	三村 光明	(九 州 産 交)	37回	川頭健一郎	(N T N)
12回	立川 勝浩	(旭 化 成)	38回	藤原 康至	(J A コーポ食品)
13回	菅谷 久二	(電 電 東 京)	39回	糟谷 悟	(ト ヨ タ 紡 織)
14回	入江田吉文	(菱 田 小 教 諭)	40回	国近 友昭	(エ ス ビ ー 食 品)
15回	長島 浩	(ダ イ エ ー)	41回	上口 広之	(スズキ浜松AC)
16回	金田 剛	(ダ イ エ ー)	42回	仁科 徳将	(富 士 通)
17回	鈴木 幸夫	(日 立 電 線)	43回	川内 優輝	(埼 玉 県 庁)
18回	松田 勝治	(鐘 紡)	44回	岡野 祥大	(長 門 市 陸 協)
19回	広瀬 永和	(立 命 館 大 学)	45回	松本 淳	(愛 知 製 鋼)
20回	藤間 一弘	(佐 川 急 便)	46回	吉村 大輝	(旭 化 成)
21回	安里 秀光	(旭 化 成)	47回	中村 泰之	(スズキ浜松AC)
22回	下川 修武	(旭 化 成)	48回	田中 飛鳥	(ゆ と り R C)
23回	高橋 信良	(N T T 中 国)	49回	大下 浩平	(広 島 経 済 大 学)
24回	江口 正久	(雪 印 乳 業)	50回	須河 宏紀	(富 山 陸 協)
25回	鎌込 和成	(積 水 化 学)	51回	西澤 佳洋	(小森コーポレーション)
26回	星 竜也	(佐 川 急 便)			

国 際 親 善 神 徳 賞

第30回防府読売マラソン大会を記念し新しく創設した賞で、大会の創設者であり、また、永年に渡り外国人選手を招致するなど、大会の発展向上に尽力された神徳通也氏の貢献を讃え、大会に参加した外国関係の優秀者に贈られる。



神徳通也氏の略歴

山口県防府市出身
昭和45年の第1回大会開催にあたり、創設者として献身的に尽力し、昭和56年の第12回大会に至る12年間防府市体育協会会長として、大会の発展向上に尽力した。昭和49年の第5回大会以来、30年間防府市日韓親善協会会長として、韓国春川市から高校生選手を大会に招待し、マラソンを通しての国際親善・スポーツの発展に貢献した。平成22年5月逝去。

歴代受賞者

30回	邢 在 英	(韓 国)
31回	白 永 寅	(韓 国)
32回	ハ イ ル ヌ グ セ	(エチオピア)
33回	タンムラット アルマイヨ	(エチオピア)
34回	セメレツ アルマイヨ	(エチオピア)
35回	李 秀 田	(中 国)
36回	ゲ ツ リ バ ヨ	(タンザニア)
37回	韓 剛	(中 国)
38回	邢 在 英	(韓 国)
39回	張 嘉 哲	(台 湾)
40回	セルオド バトオチル	(モ ン ゴ ル)
41回	鄭 雲 山	(韓 国)
42回	白 承 昊	(韓 国)
43回	該 当 者 な し	
44回	セルオド バトオチル	(モ ン ゴ ル)
45回	フィリップ キプリモ	(ウガンダ)
46回	ファビアノ ジョセフ	(タンザニア)
47回	アイザック マチャリア	(ケニヤ)
48回	ボニファス キルイ	(ケニヤ)
49回	セルオド バトオチル	(モ ン ゴ ル)
50回	マシュー キプロティク	(ケニヤ)
51回	ジェームス ルンガル	(ケニヤ)

●防府読売マラソン大会(マラソン)20傑●

(第1回～第51回)

男子の部

順位	氏名	所属/国名	時間	分	秒	大会	順位
1	H. ヌグセ	エチオピア	2.	08.	16	第33回	1位
2	S・バトオチル	モンゴル	2.	09.	00	第44回	1位
3	川内 優輝	埼玉県庁	2.	09.	15	第44回	2位
4	丸山 竜也	八千代工業	2.	09.	36	第51回	1位
5	大崎 悟史	N T T西日本大阪	2.	09.	38	第33回	2位
6	渡辺 共則	旭化成	2.	09.	40	第30回	1位
7	邢 在 英	韓国	2.	10.	37	第30回	2位
7	西澤 佳洋	小森コーポレーション	2.	10.	37	第51回	3位
9	鈴木 忠	スズキ	2.	10.	46	第51回	4位
10	M. キプロティク	ケニア	2.	10.	47	第50回	1位
11	柴田 拓真	小森コーポレーション	2.	10.	48	第51回	5位
12	福田 穰	NN Running Team	2.	10.	57	第51回	6位
13	吉村 大輝	旭化成	2.	11.	13	第50回	2位
14	畔上 和弥	トヨタ自動車	2.	11.	15	第51回	7位
15	橋本 峻	GMOアスリート	2.	11.	20	第47回	1位
16	原 由幸	御殿場滝ヶ原自衛隊	2.	11.	21	第51回	8位
17	櫛部 静二	愛三工業	2.	11.	22	第33回	3位
18	石本 孝幸	旭化成	2.	11.	23	第28回	1位
19	濱崎 達規	南城市役所	2.	11.	26	第48回	2位
20	徳永 大輔	鐘紡	2.	11.	38	第29回	1位

(第40回～第51回)

女子の部

順位	氏名	所属/国名	時間	分	秒	大会	順位
1	加藤 岬	九電工	2.	28.	12	第48回	1位
2	赤坂よもぎ	スターツ	2.	29.	21	第51回	1位
3	兼重 志帆	GRIlab	2.	29.	31	第51回	2位
4	吉松 久恵	周南市役所	2.	35.	46	第46回	1位
5	吉富 博子	佐賀陸協	2.	38.	01	第41回	1位
6	俵 千香	Eランナーズ	2.	40.	00	第44回	2位
7	藤澤 舞	札幌エクセルアスリートクラブ	2.	40.	25	第51回	3位
8	上野 映子	森野AC	2.	41.	11	第44回	3位
9	平尾 紀子	F-DREAM	2.	45.	08	第40回	1位
10	平井恵美子	枚方マスターズ	2.	45.	44	第43回	1位
11	川内 侑子	あいおいニッセイ同和損保	2.	46.	34	第51回	4位
12	太田美紀子	京都炭山修行走	2.	46.	41	第50回	2位
13	谷 舞子		2.	47.	01	第46回	3位
14	松本 久昌		2.	47.	25	第46回	4位
15	相原 千尋	広島大学樟柳クラブ	2.	48.	09	第49回	3位
16	中島 知美	GRIlab	2.	48.	15	第51回	5位
17	志水 麻紗	尼崎陸協	2.	48.	18	第49回	4位
18	小河 亜依	姫路市陸協	2.	48.	34	第50回	3位
19	山崎絵里子	JINGER	2.	48.	57	第51回	6位
20	石橋早希江		2.	49.	25	第45回	3位

●マラソン記録●

(2021年9月現在)

男子日本歴代10傑

No.	氏名	所属	時間	分	秒	年	月	日	大会
1	鈴木 健吾	富士通	2.	04.	56	21.	2.	28	びわ湖
2	大迫 傑	Nike	2.	05.	29	20.	3.	1	東京
3	設楽 悠太	Honda	2.	06.	11	18.	2.	25	東京
4	高岡 寿成	カネボウ	2.	06.	16	02.	10.	13	シカゴ
5	土方 英和	Honda	2.	06.	26	21.	2.	28	びわ湖
6	細谷 恭平	黒崎播磨	2.	06.	35	21.	2.	28	びわ湖
7	高久 龍	ヤクルト	2.	06.	45	20.	3.	1	東京
8	井上 大仁	三菱重工	2.	06.	47	21.	2.	28	びわ湖
9	藤田 敦史	富士通	2.	06.	51	00.	12.	3	福岡
9	小椋 裕介	ヤクルト	2.	06.	51	21.	2.	28	びわ湖

女子日本歴代10傑

No.	氏名	所属	時間	分	秒	年	月	日	大会
1	野口みずき	グローバリー	2.	19.	12	05.	9.	25	ベルリン
2	渋井 陽子	三井住友海上	2.	19.	41	04.	9.	26	ベルリン
3	高橋 尚子	積水化学	2.	19.	46	01.	9.	30	ベルリン
4	一山 麻緒	ワコール	2.	20.	29	20.	3.	8	名古屋
5	安藤 友香	スズキ浜松AC	2.	21.	36	17.	3.	12	名古屋
6	千葉 真子	豊田自動織機	2.	21.	45	03.	1.	26	大阪国際
7	松田 端生	ダイハツ	2.	21.	47	20.	1.	26	大阪国際
8	坂本 直子	天満屋	2.	21.	51	03.	1.	26	大阪国際
9	山口 衛里	天満屋	2.	22.	12	99.	11.	21	東京国際
10	福士加代子	ワコール	2.	22.	17	16.	1.	31	大阪国際

競 技 注 意 事 項

本大会は、2020-2021年ワールドアスレティックス（WA）ならびに2021年度日本陸上競技連盟規則および本大会規定により、12月19日（日）12時2分、キリンレモンスタジアムソルトアリーナ防府前県道をスタート、防府市大字田島折返しの公認防府読売マラソンコースで行います。なお本大会は、WAが認定するエリートラベル大会であり、WA Road Race Label Regulations（WAロードレースラベリング規定）及びWA Advertising Regulations（WA広告規定）も適用されます。

1. レース当日

- (1) 競技者受付…12月19日（日）9時から11時までキリンレモンスタジアムソルトアリーナ防府（陸上競技場北側）で行います。
※受付時に参加案内・体調管理チェックシートをご提出ください。
※使用されるシューズの検査をいたします。検査を受けられた方は、目印になるものを装着いたします。
- (2) アスリートビブス…アスリートビブスは受付で2枚渡しますので次の要領でつけてください。
 - ① ユニフォームの胸部及び背部に一枚ずつ高めにつけてください。
 - ② 小さく切ったり、折り曲げたりしないで、必ず原寸のままつけてください。
 - ③ 未返却の場合、実費相当額を請求する場合があります。
- (3) 飲食物の提出…競技者がスペシャルテーブルに置いてもらいたい飲食物は次の要領で提出してください。
 - ① 飲食物は12月19日（日）9時から10時30分の間に、キリンレモンスタジアム陸上競技場のスペシャル受付に提出してください。定刻を過ぎると希望地点に手配できませんので時間を厳守してください。
 - ② ガラス容器など壊れやすいもの、及び商標がついている容器は受け付けません。
 - ③ 容器にはマジック（油性）で希望地点、アスリートビブス番号、氏名をはっきり書いてください。
 - ④ 容器は他の競技者の物と混同しないように目印や色分けをすることをおすすめします。なお、高さは30cm以内としてください。
 - ⑤ 飲食物の内容はドーピングの有無を確認するため、指定の用紙に内容物を詳細に記入して提出してください。
- (4) 一次コール及び最終コール
競技者受付を一次コールとします。必ずユニフォームを着用（または持参）してください。
最終コールは、11時45分にスタート地点で行います。
- (5) 更衣室…招待選手以外の選手の控室をキリンレモンスタジアムソルトアリーナ防府内に設けます。更衣室への出入口はIDカード規制を実施します。招待選手はキリンレモンスタジアム陸上競技場内にある更衣室を使用してください。
- (6) ウォーミングアップ…人工芝多目的グラウンドで行ってください。招待選手はキリンレモンスタジアム陸上競技場で行ってください。

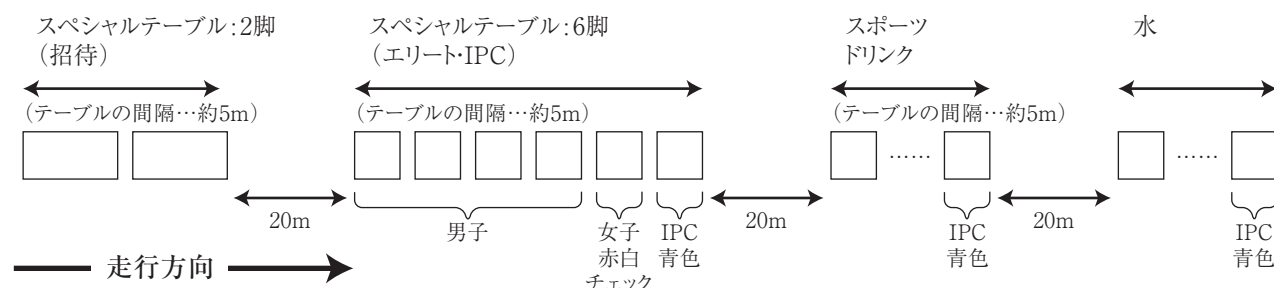
2. レース

- (1) スタート時間：12時02分
キリンレモンスタジアムソルトアリーナ防府前県道58号線上をスタートします。
- (2) フィニッシュ…第1コーナー付近のゲートから競技場に入り、トラックを約1周走りフィニッシュします。
- (3) 距離の表示…1kmごと、中間点、及びあと5km・4km・3km・2km・1kmをそれぞれ表示します。
- (4) 各関門の閉鎖時刻…7.7km＝12時46分、17.1km＝13時40分、22.5km＝14時11分、折返し点＝14時50分、35km＝15時22分、41.8km＝16時02分です。この時間を超えた選手は自動的に競技を継続する権利を失うため、競技を中止しアスリートビブスを外して、役員の指示に従ってください。5km毎及び中間点の計時は、すべて自動計測とするため、必ず用意されたマットの上を通過してください。関門以外においても著しく遅れて交通警備上支障があると判断した際には、競技中止を命じる場合があります。速やかにレースを中止し、競技役員の指示に従ってください。関門及びゲート閉鎖後の走行も認めません。

- (5) 走行の注意…選手の安全と大会の円滑な運営のため、警察は厳重な交通規制を行っています。選手は左側走行とし、カラーコーン等で中央車線を明示した場所では、中央線を越えないで下さい。その他は警察官、競技役員の指示に従ってください。
- ・選手はレース中にいかなる方法によっても、他人からの助力を受けてはなりません。
 - ・選手は医師（医務員）または審判長から競技の中止を命ぜられた場合は、直ちに競技をやめなければなりません。
 - ・レース中、身体の故障等のため走ることが困難となった場合、最寄りの競技役員に連絡してください。
 - ・失格を宣言された場合、選手はアスリートビブスを取り、収容車に乗車してください。
- (6) 緊急時の対応…競技開始前または競技中に、大規模な地震などの自然災害や、降雪などの悪天候、または、コース上やその周辺での火災・交通事故・テロ行為などの大事件等の発生により、競技開始、競技続行に影響が生ずることが想定される場合は、大会本部の指示に従って行動してください。全国瞬時警報システム（Jアラート）が使用された場合は役員の指示に従い避難行動をとること。

3. 飲食物供給所

- (1) 飲食物供給所の位置…4km、8km、14km、17.4km、22km、27km、34km、39kmに、走路の左側に設けます。IPC登録選手を除き、飲料物はすべて競技者自身が取らなければなりません。
- ① スペシャルテーブル（招待選手）…競技者が定刻までに提出した飲食物は、指定のテーブルに配置します。
- スペシャルテーブル（エリート選手）…希望者の内、公認記録順に男子40名、女子10名に用意します。
※ハーフマラソンの記録はフルマラソンに換算。
- スペシャルテーブル（IPC登録）…希望者に用意します。
- ② ゼネラルテーブル…スペシャルテーブルから約20m先に配置し主催者が大会公式飲料（スポーツドリンク）と水を用意します。



4. レース後

- (1) チップ回収…記録計測用チップは、フィニッシュ後、指定の場所に必ず返却をお願いします。
- (2) ドーピング検査…レース終了後、ドーピング検査を行います。競技役員が該当者を案内します。
- (3) 表彰式…キリンレモンスタジアム陸上競技場で行う予定です。エリート男子及び女子の優勝者、IPC登録男子及び女子の優勝者は出席してください。

Rules and Instructions

This marathon race will start at 12:02 pm, Sunday, December 19 on the official Hofu Yomiuri Marathon course – starting on the prefectural road in front of Kirin Lemon Stadium Salt Arena Hofu via turnaround point in Tajima, Hofu City in accordance with Regulations of WA, JAAD 2021, and this event. This marathon is a WA Elite Label Road Race, and WA Road Race Label Regulations, and WA Advertising Regulations are also applied.

1. The day of the race

- (1) Reception: 9:00 ~ 11:00 am, Sunday, December 19, 2021
Kirin Lemon Stadium Salt Arena Hofu (north part of Athletics Field)
※Submit the race details and the health check sheet at the reception.
※Running shoes will be examined, and marked after the examination.
- (2) Athlete bib: Receive two bibs at the reception, and attach them as follows:
 - ① Put a bib on the chest and the back in the relatively high position.
 - ② Use them as they are, and do not cut or bend them.
 - ③ If the bibs are not returned, payment of the actual costs may be demanded.
- (3) Submission of drink: Follow the instructions and submit bottles if you want to have your bottles placed on the special tables.
 - ① Bring your bottles to the special drink reception at Kirin Lemon Stadium Athletics Field between 9:00 and 10:30 am on Sunday, December 19. Later than 10:30 am, no drinks will be accepted.
 - ② Bottles that are fragile such as glass, and bottles with brand names will not be accepted.
 - ③ Write the water station (km) to request, your bib number and name on your drink bottles clearly with a permanent marker.
 - ④ In order to avoid confusion with bottles of other athletes, it is recommended to make distinction with mark and/or color coding. The bottles must be within 30cm.
 - ⑤ Please fill out the ingredients of your drink on the prescribed form, and submit the form for the purpose of doping check.
- (4) First call and final call
Signing in at the reception will be considered the first call. Wear (or bring) your uniform to the reception. The final call will be at 11:45 at the starting point.
- (5) Dressing room: Use Salt Arena Hofu, the gym at Kirin Lemon Stadium. The ID card is necessary to enter the dressing room. Invited athletes shall use the dressing room at Kirin Lemon Stadium Athletics Field.
- (6) Warming-up: Use the artificial turf, multi-purpose ground. Invited athletes shall use Kirin Lemon Stadium Athletics Field for warming-up.

2. Race

- (1) Start : At 12:02 pm on Prefectural Road 58, in front of Kirin Lemon Stadium Salt Arena Hofu
- (2) Finish: After running one lap upon entering the stadium from the gate around the first corner
- (3) Distance displays: Every kilometer to the turnaround point, 5km, 4km, 3km, 2km, and 1km to the goal.
- (4) Time limits: 7.7km = 12:46, 17.1km = 13:40, 22.5km = 14:11, Turnaround point = 14:50, 35km = 15:22, 41.8 km = 16:02. Any athletes who are unable to meet the above time limits will become automatically disqualified, therefore must stop the race, take off the bibs, and follow the instructions of the officials. Because the time will be automatically taken every 5 kilometers and at the turnaround point, please make sure to go over the installed mat. The athlete may be ordered to stop the race if he or she is judged to be so late and cause the traffic security problem at any point of the course. In such cases,

please stop the race and follow the instructions of the officials. Running after the Check Point and the gate is not permitted.

- (5) Precautions: The police will enforce the strict traffic control for the safety of the athletes and smooth management of the event. Athletes must keep left, and do not go over the center line when roads are divided with safety cones. Follow the instructions of police officers and event officials.
 - Having support in any ways during the race is not allowed.
 - You must stop the race immediately if the doctor or medical officer orders you so.
 - If it is difficult to continue the race due to the injury or illness during the race, please inform the nearby official.
 - If declared to be disqualified, remove your athlete bibs and get on the sweep bus.
- (6) Emergency situations: When it is considered impossible to have or continue the race before or during the race due to the disaster such as a big earthquake, bad weather such as heavy snow, an accident such as a fire, a traffic accident, or terrorism on or near the course, please follow the instructions of the Headquarters. When J-Alert (Japan's satellite-based disaster warning system) is used, please follow the instructions of officials and evacuate.

3. Water Stations

- (1) Water stations are set up on the left side of the road at 4km, 8km, 14km, 17.4km, 22km, 27km, 34km, 39km. Except IPC registered athletes, athletes must take their own drink.

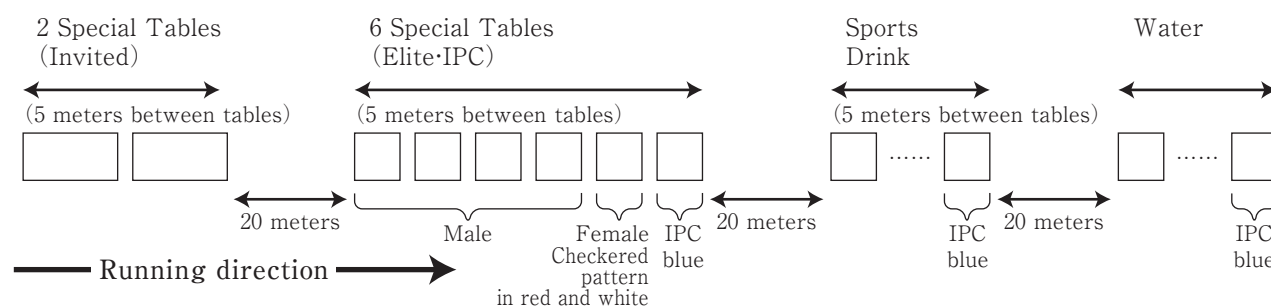
①Special tables (Invited athletes): Submitted bottles in time by invited athletes will be arranged on the designated tables.

Special tables (Elite athletes): Among elite athletes who wish to have their own drink arranged on the table, bottles of 40 male and 10 female athletes in accordance with the official record will be accepted.

* The record for half-marathon will be converted to one for full marathon.

Special tables (IPC): Submitted bottles will be arranged for IPC registered athletes.

- ②General tables: Official drink (sports drink) and water is prepared by the organizers approx. 20 meters ahead of the special tables



4. After the race

- (1) Timing chip collection: Please return your timing chip to the designated place after the race.
- (2) Doping test: The officials will announce the athletes to be tested after the race. Please follow their instructions.
- (3) Award ceremony: The winner of the elite male, the elite female, the male registered in IPC, and the female registered in IPC will be awarded at the ceremony. Those winners must attend the award ceremony at Kirin Lemon Stadium Athletics Field after the race.

大会役員

(敬称略)

名誉会長	国松 徹	岩田 幸雄	村岡 嗣政	三宅 勝次	池田 豊
名誉顧問	尾縣 貢				
会長	園田 隆				
副会長	磯部 芳規	行重 延昭			
顧問	黄倉 寿雄	瀬古 利彦	有森 裕子	風間 明	三坂 啓司
	田上 敦則	浜崎 晋一	細田 重雄	越宗 孝昌	大沢陽一郎
	山崎 浩介	久保 和成	恵良 勝治	河村 祐一	上田 和夫
	森重 豊	澤田 健規	江山 稔		山崎 博英
参事	河野 裕二	新田 明彦	赤名磨差己	神達 靖久	牧野田 亨
	木戸 隆司	中島 一尊	吉田 均	渡辺 敏之	善甫 義隆
	西村 修	北村 靖二	伊東 修	小野 恭良	杵淵 賢一
	斉藤 旭	今村 政裕	喜多村 誠	山本 一成	小松 宗介
	大和 孝義	城 宣生			杉江 純一
大会委員長	渡邊 操				
大会副委員長	能野 英人				
大会委員	弓崎 久充	山崎 道弘	石井 孝	椎木 憲治	東福 俊明
	古林 隆司	河原 久美	駄場 繁	江頭 昌	藤尾 敦
	亀井 幸一	栗原 努	田邊 美幸		中川 容祐
					白石 則明

競技役員

(敬称略)

注：(主)主 任 (副)副主任

総務 (C D)	梶山 範雅				
総務員 (A D)	渡邊 操	行重 延昭	山崎 道弘	石井 孝	東福 俊明
	椎木 憲治	中川 容祐	木之下 仁		
技術総務	森宗 寛司				
ジュリー	(主)和田 實	(副)田辺 茂男	渡邊 操(兼)		
審判長	水谷 哲也				
国際道路コース計測員	福島 信久				
公式計測員	古林 隆司				
監察員	(主)山縣 康人	藤田 昌彦	磯部 芳規		
アナウンサー	(主)江村 勝利	(副)松田眞之介	松田 京子	石丸 和子	
報道係	(主)藤本 清隆	(副)井上 隆之	衛藤 憲生		
役員係	(主)中田 敦人	(副)菅原 道康	伊藤 尚子	江藤 伝	永富ひとみ
表彰・式典係	(主)藤田 克恵	岡本 共美	岡 律子		
情報処理記録員	(主)藤田 浩昭	(副)中谷 善美	坂野 淳子	藤田 治郎(兼)	高橋 恒子(兼)
気象係	(主)津秋 操				
マージャー	(主)三上 弥六	(副)中村 昭	田中 一美	田中 克正(兼)	山根 由香(兼)
場内監察員	(主)田中 久司	(副)山田 英雄	梅田 泰司	広中 義信	池本 浩二
	山根 達夫	兼重 義昭(兼)			
道路監察員	(主)吉田 博	(副)下瀬 征治	芹澤 雄二	高橋 好敏	田中 克正
	山本 俊一	山中 雅俊	徳重 啓子	山根 由香	林 光男
	下瀬 裕	沖枝 隆明	山崎 翔太	東福 俊明(兼)	梅田 泰司(兼)

競技者係兼出発係	(主)中川 容祐(兼)	(副)永田 浩康	藤田 克恵(兼)	宗野 泰代(兼)	上野 直己
	岡山 龍夫	縄田 保	橋本 敦義	鹿嶋 悦雄	重安 浩治
	藤井 祥士	中村 讓	中村 浩	市延 真紀	水野 成久
	片岡 雅文	弘中 祥夫	岡本 共美(兼)	岡 律子(兼)	坂野 淳子(兼)
	梅本さゆみ	三好 佳子	中村 加奈	相馬沙也佳	神田 梨沙
	黒木 美羽	田中 有香			
IPC Athletics NTO	柴田 達也				
J B M A T A	安田 亨平	原田 清生	浅野 円歌		
医 務 員	木村 正統	中司 昌美	山本 一成	蔵重 芳文	御江慎一郎
N F R	佐々木英夫				
D C O	中野 裕子	佐藤 貴則	畑岡 史子	落合 公也	
シ ャ ペ ロ ン	(主)吉田 博(兼)	伊藤 尚子(兼)	永田 浩康(兼)	徳重 啓子(兼)	
救 護 係	(主)宗野 泰代	秋里あゆみ	山本しのぶ	星尾 亮治	坂本 千佳
	寺迫 宏	岸本 正義	藏本 陽子	末綱 広輝	戸島 理沙
	西崎 亮太	國広 詩織	山 敦美	迫 宏和	平井 耕平
	太田 有香	中岡 亮	友景あゆみ	河田 成貴	古谷 勝也
	若村 勇希	富永大志郎	市村 裕	山本 健司	平木 將大
	衛藤竜太郎	水津 憲清	中司 良	吉村 有司	藤村 将行
	歳弘 晋也	堀田 大貴	中野 裕太	松坂 洋治	
用 器 具 係	(主)井手 健	鶴岡 俊樹	山本 優吾	重村 翔太	山下 恭平
	杉山 英駿	濱元 智成	小川 淳史	山崎 良也	伊藤 佑馬
	岡本 大志	村田 智生	石井 俊成	上野 雅修	笹本康太郎
	松村 賢孝				
決 勝 審 判 員	(主)柳 勝紀	丸田 善春(兼)	山崎 道弘(兼)		
計 時 員	(主)水野 昭	(副)長峰 俊彦	井手 健(兼)		
トランスポンダー	梶山 範雅(兼)				
計 時 車 係	(主)国本 英一	(副)白井 隆司	岩永 利雄	藤井 智洋	河村 篤
	今井 研一				
V T R	(主)渡邊 英貴	小川 裕之			
ス タ ー タ ー	(主)藤田 治郎	高橋 恒子			
関 門	(主)椎木 憲治(兼)	(副)安田 桂司			
給 与	(主)丸田 善春	(副)兼重 義昭	山崎 道弘(兼)		
選 手 収 容 係	(主)藤田 純子	(副)得重 芳子	三輪 琢磨	大深 咲子	作間 裕子
	藤原 裕樹	沼田 真子	相馬 亮之	林 佳和	松田 有紀
	藤田 卓	久保田有香	岡村 和幸	高松 妙	岡田進之介
	原田 愛実	松崎 勇太			
輸 送 係	景山 裕司	松並 順次	中山 一郎	宮本 憲一	渡邊 武之
	江山雄一郎	伊藤 淳裕	梅田 遼太	中村 向志	小澤 寛史
	黒田健太郎	桑原 康二	安部 一輝	安田 竣亮	池田 弘樹
	松下 洋平	谷 徳浩			
主 管 総 務 事 務	(主)石井 孝(兼)	高津 節	石川 美絵		

関門役員

(敬称略)
注：(主)主 任 (副)副主任

5Km・30Km	(主)若月慎一郎	(副)横沼 良希	
7.7Km・17.1Km	(主)岩本 和剛	大西 一輝	谷川 智哉
10Km/40Km	(主)清水 英文	(副)竹繁健太郎	
15Km	(主)古六 誠	(副)山家 正	
20Km	(主)重本 敏雄	(副)内富 新一	
中間点	(主)中原 憲明	(副)大田 忠男	
22.5Km	植田 裕二	丹下 正登	黒木 悠生
25Km	(主)弘中 貢	(副)蔵谷 光則	
折返し	(主)田村 好明	(副)内山 俊治	
35Km	(主)藤田 忠	(副)高橋 周仁	

給水役員

(敬称略)
注：(主)主 任 (副)副主任

4Km	(主)佐々木俊郎	(副)翁林 晋一	(副)上野 将隆	(副)河村 一樹	岸本 理志
	久芳 将樹	中川 晋后	富重 和弘	鵜原 浩平	青木 謙吾
	小林 宏樹	縄田 祥昂	中村 啓人	田原 光樹	
8・17.4Km	(主)坂本 和之	(副)平野由紀子	(副)山縣 弥洋	(副)渋谷 壮平	山本 康彦
	原田栄次郎	倉重亜沙美	松本 紗和	高橋 茉里	岡田 響子
	吉田 千沙	篠原 翼	能見 綾乃	石村 祐華	牧平沙哉加
	石田 晶子	来島 尚樹	沖永 恒二	重安 昌也	沖 知瑛
	柴崎 絢華	水津凌太郎	河村 知哉	定 卓矢	藤島真里菜
	岡 希実	篠原 萌乃	内田 藍		
14Km	(主)相本 幸	(副)吉武 敏和	(副)國貞 裕司	(副)井本 大地	三沢 孝之
	小川 慶彦	八木慎一郎	高實 直樹	中島 一字	田村 祐輔
	山田光一郎	近森淳之介	兼氏 宙	八木 隆樹	
22Km	(主)重富 貴史	(副)古川 淳子	(副)岡藤 光洋	(副)柿野 功太	金子 千枝
	乙吉 園江	植木 美紀	田中 亜実	原田 陽子	野間 智恵
	原田 輝明	中野 正太	福田 史哉	松尾 宇晃	
27Km	(主)伊東 靖浩	(副)青木 典子	(副)富田 淳平	(副)小川 雄大	藤本 奉文
	松田 崇伸	大村 雅俊	工棟 幸雄	内田 敦士	中井 敏貴
	工棟 郁代	桃井 芳枝			
34Km	(主)宮本世志男	(副)河嶋 龍彦	(副)田中 壘	(副)森本 啓太	田邊絵美子
	山久 千聖	吉村 靖子	竹中 幸子	沼田 瑞恵	三輪 亮太
	中島 和博	原田 哲志			
39Km	(主)龍 秀幸	(副)中村 雅美	(副)市川 龍一	(副)林 健太郎	石井 正和
	原田 俊和	松永 仁志	奥迫 好雄	村田 英樹	岸本 雅史
	福田 怜史	田中 航太	藤井 大輔		

本部補助員

(敬称略)

走路整理員協力団体 プリデストーン防府工場、新田地区、中関地区、華浦地区、勝間地区、松崎地区、佐波地区、華城地区、西浦地区



JAPAN MARATHON CHAMPIONSHIP SERIES

オレゴン世界選手権マラソン日本代表

JMCシリーズ I チャンピオン(第105回日本陸上競技選手権 優勝者)

【JMCシリーズ I の成績の決め方】

第0期～第1期の2期間に各競技者が出場したシリーズ加盟大会・ポイント対象大会のうち、下記の条件下でパフォーマンスポイント(*1)が高い2大会の合計で争う。ただし、第0期についてはパフォーマンスポイントが高い1大会のみをカウントすることができる。

【条件】

- ① 2大会のうち少なくとも1大会は第1期のJMCシリーズ加盟大会であること。
- ② シリーズ内で海外のWAラベルレース(エリートラベル以上)は1大会のみ有効とする。
- ③ 日本代表として出場した国際大会(第0期の東京2020オリンピック)はJMCシリーズポイント対象大会とみなす。
- ④ 途中棄権(DNF)はカウントしない。

JMCシリーズ I 加盟大会・ポイント対象大会

第0期(2020年12月～2021年10月)

JMCシリーズ I 加盟大会

<男子3大会>

G1:第74回福岡国際マラソン選手権大会
G1:第76回びわ湖毎日マラソン大会
G2:第51回防府読売マラソン大会

<女子2大会>

G1:第40回大阪国際女子マラソン大会
G1:名古屋ウィメンズマラソン2021

JMCシリーズ I ポイント対象大会

<国際/海外レース>

東京2020オリンピック
WAラベルレース(エリートラベル以上)

第1期(2021年11月～2022年3月)

JMCシリーズ I 加盟大会

<男子5大会>

G1:第75回福岡国際マラソン選手権大会
G1:第70回別府大分毎日マラソン
G1:第10回大阪マラソン・77回びわ湖毎日マラソン統合大会
G1:東京マラソン2021
G2:第52回防府読売マラソン大会

<女子4大会>

G1:第41回大阪国際女子マラソン大会
G1:名古屋ウィメンズマラソン2022
G1:東京マラソン2021
G2:第10回大阪マラソン・77回びわ湖毎日マラソン統合大会

JMCシリーズ I ポイント対象大会

<国際/海外レース>

WAラベルレース(エリートラベル以上)

※第1期グレード1の大会は以下の選考競技会を兼ねる。

オレゴン2022世界陸上競技選手権大会マラソン日本代表選手選考競技会

杭州2022アジア競技大会マラソン日本代表選手選考競技会

***1パフォーマンスポイント=記録ポイント(*2)+JMCポイント(*3)**

***2:WAスコアリングテーブルを基に算出したポイント**

***3:大会のグレードに応じた日本人選手のものに付与する順位のポイント**

JAPAN MARATHON CHAMPIONSHIP SERIES

スプリットタイムメモ

5 km			25 km		
1			1		
2			2		
3			3		
10 km			30 km		
1			1		
2			2		
3			3		
15 km			35 km		
1			1		
2			2		
3			3		
20 km			40 km		
1			1		
2			2		
3			3		

気 象 状 況

時 間	天 候	気温 (℃)	風 向	風速 (m/秒)	湿度 (%)	気 圧 (hPa)
11 時						
12 時						
13 時						
14 時						
15 時						

大会最高記録 (第33回大会 2002.12.15)

	5キロ	10キロ	15キロ	20キロ	中間点	25キロ	30キロ	35キロ	40キロ	ゴール
ハイル ヌグセ	15'30"	30'38" (15'08")	45'46" (15'08")	1'00'44" (14'58")	1'04'06"	1'15'36" (14'52")	1'30'37" (15'01")	1'45'58" (15'21")	2'01'42" (15'44")	2'08'16" (6'34")

入 賞 者 一 覧 表

種別	順位	アスリート ピブス	氏 名	所 属	時 分 秒	種別	順位	アスリート ピブス	氏 名	所 属	時 分 秒
男 子	1				〇 / 〇 "	女 子	1				〇 / 〇 "
	2				〇 / 〇 "		2				〇 / 〇 "
	3				〇 / 〇 "		3				〇 / 〇 "
	4				〇 / 〇 "		4				〇 / 〇 "
	5				〇 / 〇 "		5				〇 / 〇 "
	6				〇 / 〇 "		6				〇 / 〇 "
	7				〇 / 〇 "		7				〇 / 〇 "
	8				〇 / 〇 "		8				〇 / 〇 "

IPC登録の部

種別	順位	アスリート ピブス	氏 名	所 属	時 分 秒	種別	順位	アスリート ピブス	氏 名	所 属	時 分 秒
男 子	1				〇 / 〇 "	女 子	1				〇 / 〇 "
	2				〇 / 〇 "		2				〇 / 〇 "
	3				〇 / 〇 "		3				〇 / 〇 "

★★★★★ FIVESTAR WEDDING

ホテルならではのホスピタリティ、
安心の充実施設でゲストへの「おもてなし」も完璧。
感謝の気持ちをおふたりに代わってお伝えします。

PICK UP
01

【毎週土・日開催】
無料試食&ドレス試着

PICK UP
02

25周年記念PLAN

※フェア・PLAN詳細は公式WEBサイトをご覧ください。

「おもてなし」が光るホテルウェディング
地域・地元密着 特別ブライダルフェア開催中

GRANDHOTEL
H O F U
防 府 グ ラ ン ド ホ テ ル

防府グランドホテル
〒747-0801 防府市駅南町15-20
平日11:00-19:00(火・水曜日休館)
土・日、祝日10:00-19:00

ご予約・お問い合わせ

0120-30-1155

※フリーダイヤルは一部地域によってはご利用いただけない場合がありますので、ご了承ください。